

施策名称		支援教育の充実	
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐむまち	
	施策目標等	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
めざす姿（主観的満足度）		子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしている	
概要		障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図る。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	R7年度		
	R8年度		
	R9年度		

施策シート【16_08】－ 具体的な取り組み

学校教育部

施策名称	支援教育の充実
------	---------

1. 全小中学校への通級指導教室設置に向けた取り組み

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
小中学校における学びの場の充実のため、通常の学級、支援学級の他に通級指導教室を全小中学校に開設。	・中学校全校及び小学校22校に設置 ・特別支援教育支援員を全小中学校に各1名配置	・中学校全校及び小学校29校に設置（教職員の複数校の兼務体制を含む） ・特別支援教育支援員を全小中学校に各2名配置	・中学校全校及び小学校36校に設置（教職員の複数校の兼務体制を含む） ・特別支援教育支援員を全小中学校に各3名配置	・中学校全校及び小学校全校に設置（教職員の複数校の兼務体制を含む） ・特別支援教育支援員を全小中学校に各4名配置	児童生徒課

2. 支援教育の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、大学教授等の専門家を派遣し指導・助言を実施。 ・肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士を派遣し、指導・助言を実施。 ・通級指導教室担当者を中心に構成する枚方市支援教育リーディングチームが巡回相談を実施。 ・府立支援学校の地域支援リーディングスタッフが巡回相談を実施。	・大学教授等の専門家の派遣による指導・助言の実施 ・理学療法士を派遣による指導・助言の実施 ・枚方市リーディングチームによる巡回相談の実施 ・府立支援学校の地域支援リーディングスタッフによる巡回相談の実施	継続	継続	継続	児童生徒課

施策シート【16_08】－ 施策指標

学校教育部

施策名称	支援教育の充実
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
小中学校における通級指導教室設置 学校数	通級指導教室の設置学校数	41	48	55	63	校	児童生徒課	1. 全小中学校への通級指導教室 設置に向けた取り組み
支援教育に関する専門的な知識・技能 を持つ専門家の派遣回数	支援教育に関する専門的な知識・技能を 持つ専門家を学校園に派遣した回数	121	122	123	124	回	児童生徒課	2. 支援教育の推進

施策シート【16－09】

総合教育部

施策名称		子どもの健やかな身体の育成						
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐむまち						
	施策目標等	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち						
めざす姿（主観的満足度）		子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしている						
概要		学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、健やかな身体を育成する取り組みを進める。						
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度		
	1. 中学校の全員給食の実施 2. 給食提供体制の整備						1. 中学校の全員給食の実施 ○新給食調理場の完成 ○第一共同調理場改修工事完了	

施策シート【16－09】－ 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	子どもの健やかな身体の育成
------	---------------

1. 中学校の全員給食の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
健やかな成長を支えるための中学校での全員給食の実施に向け、新たな給食センターを整備、第一学校給食共同調理場の一部改修を実施。	アドバイザー業務委託	・アドバイザー業務委託 ・中学校給食配膳室の拡充等設計委託 ・新給食調理場の設計及び工事着工	・中学校給食配膳室改修等工事 ・新給食調理場の工事	新給食調理場の完成	おいしい給食課
		・第一学校給食共同調理場改修設計委託	・第一学校給食共同調理場改修工事	・第一学校給食共同調理場改修工事完了 ・令和10年度から中学校の全員給食の開始 [目標年度]	

2. 給食提供体制の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
樟葉西小学校給食調理場について、既存の建物を活用する長寿命化改修工事により、ドライシステム調理場として整備。	改修工事の実施及び完了	—	—	—	おいしい給食課

施策シート【16－09】－ 施策指標

総合教育部

施策名称	子どもの健やかな身体の育成
------	---------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率	各年度に実施すべき取り組みの達成度	51.3	72.0	93.3	100	%	おいしい給食課	1. 中学校の全員給食の実施

施策シート【17_01】

観光にぎわい部

施策名称		生涯学習の推進		
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐむまち		
	施策目標等	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
めざす姿（主観的満足度）		生きがいを持って学び続けられる環境が整っている		
概要		あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境を作る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	1. 生涯学習交流センターの充実 ○令和6年度前期において、市駅前 前に図書館との複合施設となる 生涯学習交流センターをオープン			
	2. デジタルを活用した学びや生きがい づくりの促進 ○Wi-Fiを活用した事業の実施や サイネージを活用した情報発信			
	R7年度			
	R8年度			
	R9年度			

施策シート【17_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	生涯学習の推進
------	---------

1. 生涯学習交流センターの充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和6年度前期に③街区において図書館との複合施設となる生涯学習交流センターをオープン。	・令和6年度前期において図書館との複合施設となる生涯学習交流センターをオープン ・指定管理者による運営	継続	継続	次期指定管理者の選定	文化生涯学習課

2. デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進	・Wi-Fiを活用した事業の実施 ・サイネージを活用した情報発信	継続	継続	継続	文化生涯学習課

施策シート【17_01】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称		生涯学習の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
生涯学習市民センター利用件数	生涯学習市民センター（9施設）の利用件数	66,000	66,500	67,000	67,500	件	文化生涯学習課	-
総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるWi-Fi接続数	Wi-Fiを設置した施設におけるWi-Fi接続数	14,000	19,000	21,500	23,000	回	文化生涯学習課	2. デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進
総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるデジタルサイネージ利用数	デジタルサイネージを設置した施設におけるタッチ数	28,000	38,000	43,000	46,000	回	文化生涯学習課	2. デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進

施策名称		図書館運営・機能の充実		
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐむまち		
	施策目標等	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
めざす姿（主観的満足度）		文化芸術に親しめる環境が整っている		
概要		市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と、知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	1. 図書受け取りロッカーの設置 ○京阪枚方市駅構内に予約受け取りロッカーを設置			
	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入			
	3. 自動車文庫の運営			
	4. 図書館資料の充実			
	5. 電子図書館の利用促進			
	6. 子ども読書の推進			
	7. 障害者の読書支援			
	R7年度			
	R8年度			
	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 ○図書館全館にICタグシステムを導入完了			
	R9年度			

施策シート【17_02】－ 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

1. 図書受け取りロッカーの設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
京阪枚方市駅構内に24時間利用可能な予約図書受取ロッカーを設置し、利便性の向上を図る。	京阪枚方市駅構内において予約受取ロッカーの運用を開始	継続	継続	継続	中央図書館

2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
スマートシティの実現や子ども読書活動推進に向け、市駅前図書館をはじめとして、図書館全館にICタグシステムを導入するとともに、読書履歴情報の提供サービス（機器及び記録帳）を導入。	・市駅前図書館設置にあわせ、市駅前図書館から順次（中央図書館は3月予定）ICタグシステムを導入 ・読書履歴情報の提供サービスの運用開始	・7分館（楠葉・牧野・菅原・津田・香里ヶ丘・さだ・御殿山）にICタグシステムを導入 ・読書履歴情報の提供サービスの運用を拡大	・6分室（村野・香里園・枚方公園・宮之阪・藤阪・氷室）にICタグシステムを導入 ・読書履歴情報の提供サービスの運用を拡大	・全館でのICタグシステム運用を継続 ・読書履歴情報の提供サービスの運用を継続	中央図書館

3. 自動車文庫の運営

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
図書館及び分室を利用することが不便な地域の市民に対して、自動車文庫により図書館サービスを提供することを目的に、市内のステーションを巡回し、図書館資料の貸出・返却・予約受付を実施。	・図書館利用機会を提供 ・機動力を生かして図書館利用の便利さをPRする等の取り組みを実施	継続	継続	継続	中央図書館

4. 図書館資料の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
幅広くかつ効率的に資料を購入し、図書館資料を充実。	「枚方市立図書館蔵書計画」に基づき、選書した図書を計画的に購入	継続	継続	継続	中央図書館

施策シート【17_02】－ 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

5. 電子図書館の利用促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供。 ②読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを実施。 ③市内全児童・生徒に貸与されたタブレットによる、電子書籍を活用した学校教育の支援。	・電子書籍の追加購入 ・電子図書館の周知 ・児童書の「読み放題パック」を継続購入	継続	継続	継続	中央図書館

6. 子ども読書の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子どもがたくさんの本と出会うことができるように、基金を積み立て、その基金を使って絵本や児童書を購入し学校や保育所（園）、幼稚園、地域の子育て団体に提供。また、購入した児童書を、授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等で活用。	・絵本や児童書を購入し、学校や保育所（園）、幼稚園、地域の子育て団体に提供 ・授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等の活用	継続	継続	継続	中央図書館

7. 障害者の読書支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者等の利用促進を図ることを目的として、障害のある利用者等の読書環境を整備するとともに、音訳協力者等を養成。	読書バリアフリー法をふまえ、障害者に対する読書支援の実施	継続	継続	継続	中央図書館

施策シート[17_02]ー 施策指標

総合教育部

施策名称		図書館運営・機能の充実						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
図書館サービスに係る利用満足度	窓口アンケート調査による全館平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての7項目における「満足」「やや満足」）の回答割合	80	83	86	89	%	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実 5. 電子図書館の利用促進
市駅前図書館サービスに対する満足度	窓口アンケート調査による市駅前図書館の平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての7項目における「満足」「やや満足」）の回答割合	80	83	86	89	%	中央図書館	1. 図書受け取りロッカーの設置 2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
インターネット経由の予約受付件数	インターネット経由で予約を受け付けた件数	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	件	中央図書館	1. 図書受け取りロッカーの設置
読書相談、レファレンスサービス受付件数	読書相談やレファレンス（調べもの相談）を窓口で受け付けた件数。	1,350	1,400	1,450	1,500	件	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
ICタグシステムの導入館（室）数累計	令和6年度以降導入するICタグシステムの導入館（室）数累計	2	9	15	15	館	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
児童書の個人貸出冊数全館合計	児童書の個人貸出冊数の全館合計	1,150,000	1,620,000	2,210,000	2,250,000	冊	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
実利用者数	1年度中に1回以上図書の貸出サービスを利用した人数	55,100	55,150	55,200	55,250	人	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
図書館貸出冊数（個人・団体）	図書館全館の年間個人・団体貸出冊数	3,900,000	4,400,000	5,000,000	5,200,000	冊	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
図書館来館者数	図書館（中央図書館・分館・分室）の延べ年間来館者数	1,930,000	1,990,000	2,040,000	2,100,000	人	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
電子図書館利用者へのwebアンケートによる利用者満足度	ロゴフォームを活用した電子図書館利用者へのWEBアンケート結果に基づく利用者満足度	80以上	80以上	80以上	80以上	%	中央図書館	5. 電子図書館の利用促進
学校や保育所・幼稚園等への団体貸出冊数	学校や保育所・幼稚園等に届ける団体貸出の冊数	73,000	81,000	89,000	99,000	冊	中央図書館	6. 子ども読書の推進
点字・録音図書貸出タイトル数	点字・録音図書の貸出タイトル数	3,100	3,200	3,400	3,500	タイトル	中央図書館	7. 障害者の読書支援

施策名称		文化芸術活動の推進		
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐむまち		
	施策目標等	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
めざす姿（主観的満足度）		気軽にスポーツ活動ができる環境が整っている		
概要		市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進める。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			

1. 文化芸術活動の充実
2. 総合文化芸術センターを拠点とする文化芸術の振興

施策シート【17_03】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	文化芸術活動の推進
------	-----------

1. 文化芸術活動の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
総合文化芸術センターにおいて国内外の著名なアーティストを招聘した鑑賞事業を実施	国内外の著名なアーティストを招聘した鑑賞事業の提案を含め、指定管理者を選定	次期指定管理者の運営による鑑賞事業等の拡充	継続	継続	文化生涯学習課

2. 総合文化芸術センターを拠点とする文化芸術の振興

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
多彩な文化芸術の鑑賞、創造及び普及活動並びに文化芸術を支える人材を育成し、本市の文化芸術の振興を図るとともに、人々の交流の促進や都市の魅力向上に寄与する拠点として、総合文化芸術センターを運営する。	貸館の利用率向上、利用者数増加のために魅力的かつ多彩な事業の実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課

施策シート【17_03】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	文化芸術活動の推進
------	-----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
総合文化芸術センターの自主事業における利用者数	総合文化芸術センター指定管理者が大小ホールで実施する自主事業における利用者最大枠 ※1期目の指定管理期間がR6で終了し、R7から2期目となることから、変更となる場合がある。	48,500	48,500	48,500	48,500	人	文化生涯学習課	1. 文化芸術活動の充実
総合文化芸術センターの主要な施設の来館者見込	総合文化芸術センターの大ホール・小ホール・イベントホール・美術ギャラリーの年間来館者数	331,000	331,000	331,000	331,000	人	文化生涯学習課	2. 総合文化芸術センターを拠点とする文化芸術の振興

施策シート【17_04】

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称		スポーツ活動の推進			
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち			
	施策目標等	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
めざす姿（主観的満足度）		気軽にスポーツ活動ができる環境が整っている			
概要		誰もが気軽にスポーツに親しみ、年齢や興味または関心に応じたスポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	1. 観るスポーツの環境の充実 2. トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツの推進 3. スポーツイベントの開催 （1）トップアスリートとふれあう機会の提供 （2）各種スポーツ大会等の開催 （3）スポーツ少年団の活動支援 4. スケートボードパークの整備 5. eスポーツを活用した事業の展開 6. 地域・競技スポーツのコンサルティング 7. スポーツサポーターズバンク事業補助 8. 市立小中学校等の施設開放 9. 野外活動センターの利用促進及びリニューアル		4. スケートボードパークの整備 ○オープン 8. 市立小中学校等の施設開放 ○新たな予約方法での申請受付及び受益者負担徴収を開始		

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

1. 観るスポーツの環境の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
本市を拠点とするトップスポーツチームの環境充実を含めた、観るスポーツの拠点整備の可能性について検討。	・適地、財源等の可能性検討（スタジアム等） ・環境充実に向けた整備方針の検討	・適地、財源等の可能性検討（スタジアム等） ・整備方針の具体化	施設整備の方向性をまとめる	準備・検討	スポーツ振興課

2. トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
より質の高いスポーツに親しむことができるよう、トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツを推進。	・トップスポーツチームとの連携 ・オリンピック関連イベントの実施	推進	推進	推進	スポーツ振興課

3. （1）スポーツイベントの開催（トップアスリートとふれあう機会の提供）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め夢を育むため、トップアスリートとのふれあい事業を実施。	・より子どもたちの関心の高いトップアスリートの招聘や種目の検討 ・子どもたちと触れ合う機会を提供	継続	継続	継続	スポーツ振興課

3. （2）スポーツイベントの開催（各種スポーツ大会等の開催）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会等を実施。 ①各種競技大会（総合体育大会等） ②市内高校バレーボール大会 ③ラグビーカーニバル	・各種競技大会（総合体育大会等）、市内高校バレーボール大会、ラグビーカーニバル事業の実施 ・前年度の実施状況を踏まえた内容の整理・充実	継続	継続	継続	スポーツ振興課

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

3. (3) スポーツイベントの開催（スポーツ少年団の活動支援）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与することを目的として、スポーツ少年団活動がより活発となるよう支援。（少年団は、市内の3歳以上の団員10人以上と満20歳以上の指導者により構成。）	・スポーツ少年団に対して補助金を交付 ・必要に応じて活動内容の確認や活性化に向けた助言を行う	継続	継続	継続	スポーツ振興課

4. スケートボードパークの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
アーバンスポーツの環境充実のため、市内のスケートボードパークを整備・拡充。	準備・検討 （河川管理者及び公園管理者との調整）	設計・施工	管理運営	継続	スポーツ振興課

5. eスポーツを活用した事業の展開

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市スポーツ協会や民間のスポーツ施設などと連携し年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが参加できるeスポーツを展開。	試行実施（eスポーツイベントなどの事業展開）	事業検証の上、見直し・拡充	継続	継続	スポーツ振興課

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

6. 地域・競技スポーツのコンサルティング

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のライフステージに応じたスポーツ機会の提供。 ①地域（PTA等）や障害者団体のスポーツイベント開催に際し、専門的な知識を活かして企画・運営のコーディネートを実施。 ②ノウハウを持ったスタッフをスポーツボランティアとして派遣するなど、地域スポーツを総合的なコンサルティングを実施。 ③ニュースポーツの普及や指導者育成に関する助言を実施。	地域スポーツ・健康経営・障がい者スポーツのコンサルティングを実施	継続	継続	継続	スポーツ振興課

7. スポーツサポーターズバンク事業補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のスポーツ活動振興を図るため、スポーツ指導者・支援者を派遣するスポーツサポーターズバンク事業を補助。	・学校部活動との連携も踏まえ、スポーツ指導者等を養成 ・ニーズに合わせた指導者を派遣	継続	継続	継続	スポーツ振興課

8. 市立小中学校等の施設開放

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域住民等の身近な文化・地域活動の場として、小中学校、幼稚園施設の開放。	・受益者負担の対象用途の整理、及び徴収額の検討 ・利用申請に係る公平性確保、申請手続きに係る学校の負担軽減について検討	継続	新たな予約方法での申請受付及び受益者負担徴収を開始	継続	新しい学校推進課

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

9. 野外活動センターの利用促進及びリニューアル

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
野外活動センターの利用者増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）について、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施。より使いやすい施設となるよう、整備内容等の実施方針の検討を行い、魅力向上に向けたリニューアルを行う。	・学校のニーズ把握及び前年度実施内容の検証 ・学校キャンプの支援 ・リニューアルの実施方針の決定及び計画の検討（サウンディング等）	・継続 ・計画策定	・継続（リニューアルに合わせて見直し） ・リニューアルの具体化	継続	スポーツ振興課

施策シート【17_04】－ 施策指標

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
トップスポーツチームとの連携事業の回数	ホームタウンチームをはじめとしたトップスポーツチームと連携した事業の回数。	20	22	24	26	回	スポーツ振興課	2. トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツの推進
参加者満足度（アンケート）	参加者へのアンケート調査により測定した満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	85	90	95	100	%	スポーツ振興課	3. （１）スポーツイベントの開催（トップアスリートとふれあう機会の提供）
各大会等の参加者数	総合体育大会等の各種大会・イベントに参加した人数	21,000	21,500	22,000	22,500	人	スポーツ振興課	3. （２）スポーツイベントの開催（各種スポーツ大会等の開催）
スポーツ少年団の登録団員数	スポーツ少年団に登録している団員の人数	850	900	1,000	1,050	人	スポーツ振興課	3. （３）スポーツイベントの開催（スポーツ少年団の活動支援）
eスポーツイベント参加者のうち満足した人の割合	eスポーツイベント参加者へのアンケート調査により測定した満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	85	90	95	100	%	スポーツ振興課	5. eスポーツを活用した事業の展開
地域スポーツへのコーディネート、コンサルティングに対する満足度	地域スポーツへのコーディネート、コンサルティングを実施した企業及び個人に対するアンケート調査による満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	85	90	95	100	%	スポーツ振興課	6. 地域・競技スポーツのコンサルティング
発掘・育成された指導者や支援者の派遣回数	市民の中から発掘・育成された指導者や支援者が、企業や団体からの派遣依頼に基づき派遣された回数	60	64	68	72	回	スポーツ振興課	7. スポーツサポーターズバンク事業補助
施設開放の年間利用者数	事業を通じて、小中学校、幼稚園施設を利用された利用者数	800,000	800,000	800,000	800,000	人	新しい学校推進課	8. 市立小中学校等の施設開放
施設の市内小中学生等の利用者数（日帰り・宿泊）	野外活動センターを利用した市内の小中学生の人数	5,910	6,110	6,310	6,510	人	スポーツ振興課	9. 野外活動センターの利用促進及びリニューアル
スポーツ施設利用者数	体育館・グラウンドなど市立スポーツ施設の年間利用者数	990,000	1,010,000	1,030,000	1,060,000	人	スポーツ振興課	-

施策シート【18_01】

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称		枚方市駅周辺の再整備					
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち					
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち					
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である					
概要		利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進める。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
	1. 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進		1. 市駅周辺における分煙の推進 ○屋外分煙施設の運用				
	2. 枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進		2. 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進 ○北口駅前広場再編完了				
	3. 外周道路などの整備						
	4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備						
	5. 新庁舎整備の検討						
	6. 公民連携した市駅周辺の空間づくり						

施策シート【18_01】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

1. 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
他の街区に先駆け、「枚方市駅周辺再整備ビジョン」にさだめるまちなか交流拠点及び広域駅前拠点の形成を図るため、行政サービス再編や駅前広場、区画道路等の公共施設及び多様な都市機能と都市居住が集積する建築物の一体的な整備など、事業の実現に向けた技術的・財源的支援を実施。	・③街区の建築工事完了 ・市駅前行政サービス再編事業の完了（新たな市民窓口や市駅前図書館等の開設）	・北口駅前広場改良完了 ・本工事を以て、まちなか交流拠点・広域駅前拠点（北口駅前広場等）の形成が完了	—	—	市駅周辺まち活性化部

2. 枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちの実現に向けた連鎖型まちづくりの具体化を図るため、各街区における取り組みを推進。併せて、まちの魅力や価値の向上を持続的に育むためにエリアマネジメントを促進。	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画策定に向けた庁舎機能等の検討 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画の策定 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備に伴う事業者募集 ・②街区地権者勉強会など	継続	市駅周辺まち活性化部

3. 外周道路などの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路などの整備を実施。	財政状況等を勘案し、他事業との調整・連携を図りながら計画的に整備工事を推進	継続	継続	継続	道路河川整備課

施策シート【18_01】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備を実施。	・執務スペース、書庫、倉庫などの整理 ・新庁舎における新たなワークスタイルについての調査研究 ・フリーアドレス（ユニバーサルレイアウト）、クラウドPBXなどの検証・順次導入 ・新庁舎における総合管理委託に向けた業務の洗い出し等の調査・検討 ・公用車の整理	継続	継続	継続	総務管理課

5. 新庁舎整備の検討

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
庁内のワーキングチームにより、先進事例研究や市民の意見等も踏まえて、新庁舎基本計画を策定し、計画に基づき整備する。基本計画では、付帯施設の内容についても整理を行う。なお、庁舎に関する検討内容や将来像については、SNS等を活用し、広く市民に対して発信していく。	新庁舎整備基本計画策定に向けて、庁舎機能などについて、市民意見聴取や他市視察などを実施	新庁舎整備基本計画の策定	新庁舎整備に伴う事業者募集	新庁舎整備に伴う設計など	市駅周辺まち活性化部

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

6. 公民連携した市駅周辺の空間づくり

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民や有識者などからの意見聴取やURとの意見交換を行いながら、民間提案を募るなど、公民連携した空間づくりに向けて取り組む。	・P-PFIなど、公民連携手法の検討 ・URと連携し、民間事業者からの提案 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進	継続	継続	継続	市駅周辺まち活性化部

施策シート【18_01】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備	組織変更や人員の増減にフレキシブルに対応しやすいユニバーサルレイアウトを採用したのべ職員数	100	250	390	420	人	総務管理課	4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備

施策シート【18_02】

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称		枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち			
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である			
概要		枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、賑わいづくりを創出する。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【18_02】－ 具体的な取り組み

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出
------	------------------

1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
(1)④街区の民間活力導入エリアや新庁舎の整備に向けて、親子で楽しめる屋内遊び場など、市民ニーズやURとの意見交換等を踏まえた募集要項の作成 (2)みどりの大空間の具体化に際し、市民や有識者などからの意見聴取などを行いながら実現に向けた取り組み。	市民ニーズ及びURとの意見交換等を踏まえた募集要項に記載する誘致施設や機能の検討・提案	継続	継続	—	市駅周辺まち活性化部、子ども青少年政策課

2. バンケット付きホテルの創業支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新たな都市機能として長期的に安定した事業継続が可能となるよう、原則5年間、固定資産税および都市計画税等の相当額を支援。	固定資産税および都市計画税等の相当額を支援する補助制度の構築	補助受付開始	継続	継続	観光交流課

施策シート【18_02】－ 施策指標

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出
------	------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ホテルとの連携実績数	ホテル宿泊者の市内店舗利用者数	2,072	3,551	3,729	3,907	人	観光交流課	2. バンケット付きホテルの創業支援

施策名称		歴史文化遺産の活用と情報発信の充実					
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち					
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち					
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている					
概要		歴史文化遺産の活用と情報発信の充実を図り、まちへの愛着を育む。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
	1. 百済寺跡の築地堀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置 ○百済寺跡の築地堀セレモニー、公園再整備工事をもって短期計画完了 2. 郷土史に対する理解の促進 3. 文化財の普及啓発と活用				1. 百済寺跡の築地堀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置 ○楠葉台場跡「簡易整備」実施		

施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①百済寺跡の築地塀再現 ②楠葉台場跡の活用 などにより市内文化財の普及啓発	①築地塀完成セレモニー、公園再整備工事をもって短期計画の完了 ②国・大阪府との協議	①アプローチ及び展示場整備の検討、大阪府との協議 ②整備に向けた方向性の検討、検討体制の整備など	①②方向性に沿った取り組み推進	①②継続	文化財課

2. 郷土史に対する理解の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図ることを目的に、枚方市史年報をはじめ市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を実施。	・市史に関する刊行物の編集 ・歴史資料の収集・整理・保存 ・希望者へのレファレンス	継続	継続	継続	文化財課

施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

3. 文化財の普及啓発と活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
(1) それぞれの施設などの説明板を多言語化することで、国内外に向けた、啓発普及及び観光資源としての活用を目指す。 ①旧田中家鋳物民俗資料館 ②枚方宿鍵屋資料館 ③特別史跡百済寺跡 (2) 無形民俗文化財の登録 市内の祭りやだんじり等の民俗文化財調査を進めることで、市内初の無形民俗文化財の登録を目指します。	(1) 説明板の多言語化や市ホームページによる特設サイトの作成、SNSなど、国内外を意識した啓発普及に取り組む ①旧田中家鋳物民俗資料館 市内工場や市内農家と連携したツーリズムを実施。 ②枚方宿鍵屋資料館 施設を活用したにぎわい創出事業の提案を含め、指定管理者を選定 ③特別史跡百済寺跡 A R映像の活用や発掘調査の際に出土した遺物の展示を実施。 (2) 無形民俗文化財を登録	①、③は継続 ②は指定管理者による、にぎわい創出事業の拡充	継続	継続	文化財課

施策シート【19_01】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	50	52	54	56	%	文化財課	1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置
レファレンス等利用件数	枚方の歴史や史料に関する質問・照会のほか資料の閲覧・複写及び貸出等の利用も含めたレファレンス等の件数	250	260	270	280	件	文化財課	2. 郷土史に対する理解の促進
文化財活用事業満足度	講習受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式：受講者アンケートにて「満足」と回答した人数／アンケート回答者数】	80	85	90	95	%	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	6,300	6,350	6,400	6,450	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	750	800	850	900	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	8,800	8,900	9,000	9,100	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用

施策名称		観光施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期①	R6年度	R7年度		R8年度	R9年度
	1. 観光マーケティング 2. 新たな観光情報発信拠点の整備 ○新たな観光情報発信拠点（枚方市観光案内所Syuku56）のオープン 3. 枚方宿エリアの新たな観光スポットの創出 4. まちなみや町家の保全 5. 天野川左岸の景観や歩行空間の整備 6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航） 7. 水辺アクティビティの展開 8. サイクルロードの中継ポート整備 9. 東部地域の活性化 10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進	1. 観光マーケティング ○民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 3. 枚方宿エリアの新たな観光スポットの創出 ○療育園跡地の拠点オープン 9. 東部地域の活性化 ○複数の観光ツーリズムの実施 10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進 ○複数の観光ツーリズムの実施、特産品の創出支援・販路拡大、古民家活用事業開始			7. 水辺アクティビティの展開 ○水辺アクティビティの拠点オープン 8. サイクルロードの中継ポート整備 ○中継ポートオープン

施策名称		観光施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期②	R6年度	R7年度		R8年度	R9年度
	1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 3. 市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 6. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備 1 7. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展 1 9. 枚方フェスティバル協議会の支援 2 0. にぎわい空間の創出	1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 ○ 古民家活用事業開始 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 ○ 共創による、特産品や新たなビジネスの創出 1 7. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 ○ 子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待を実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展 2 0. にぎわい空間の創出 ○ 新たなにぎわい空間創出事業の具体化			

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

1. 観光マーケティング

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を実施（観光情報の継続的な発信・案内、観光コンテンツの開発、観光データ調査分析）	・観光データ分析に基づくターゲット設定 ・民間事業者との連携による万博を見据えた観光コンテンツの開発 ・万博を契機とした各種プロモーション事業との連携	・民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 ・プロモーション事業との連携	万博を契機に開発された観光コンテンツのさらなる展開	万博後の取り組みの効果検証と観光コンテンツのさらなる展開	観光交流課

2. 新たな観光情報発信拠点の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和6年前期にオープンする新たな観光情報発信拠点	・枚方市観光案内所 Syuku56のオープン、運営（委託） ・デジタル技術を活用した観光情報の発信	継続	継続	継続	観光交流課

3. 枚方宿エリアに新たな観光スポットを創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
幼児療育園跡地を活用し枚方宿地域の賑わい創出の拠点となるよう整備を推進する。西見附付近において、観光客誘致に向けた環境づくりの検討を行う。	・解体 ・検討（観光バス発着所の検討、枚方宿地区の案内板の設置、御宿場印帳、鍵屋活用の検討）	・療育園跡地の建築・オープン ・西見附付近の環境の充実	継続	継続	観光交流課

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

4. まちなみや町家の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①町家バンクを運営するまち協への支援。 （周知方法の検討） ②住宅まちづくり課と連携し景観補助制度の支援。 ③古民家再生協会との連携協定における活動の推進。 ④療育園跡地の活用において、景観形成のシンボリックな建物を創出。	まちづくり協議会等との連携による取り組みの推進	継続	継続	継続	観光交流課

5. 天野川左岸の景観や歩行空間の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
③街区のまちびらきにあわせた隣接区間の景観整備及び、左岸の高水敷の活用などについて河川管理者等と協議・調整など、ウォーカブルなまちづくりの実現に向けた取り組み	・③街区隣接区間の景観整備 ・ウォーカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整	ウォーカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整	継続	継続	市駅周辺まち活性化部

6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川舟運整備推進協議会要望を経た舟運航路の確保。 ②淀川舟運活性化協議会での議論を踏まえた連携の推進	・船着き場への案内サイン ・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ開発や充実	・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ実施	取り組みの継続	取り組みの継続	観光交流課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

7. 水辺アクティビティの展開

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①ひらかた万博を意識し、国や府、沿川自治体、民間事業者との連携を更に深めアクティビティを充実。 ②かわまちづくり計画に沿った、堤防上の活用。まちへの周遊が促進される取り組みの展開。	・アクティビティコンテンツの充実 ・堤防上仮設整備・検証	堤防上仮設整備・検証	堤防上整備	水辺アクティビティの拠点運営	観光交流課

8. サイクルロードの中継ポート整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川河川敷堤防上及び②幼児療育園跡地を活用したにぎわい創出に取り組む中で、機能の一つとして、サイクリストを取り込む仕掛けとしてサイクルラックの設置等を行い、まちへの周遊が促進される取り組みを展開する。	①堤防上実証	①サイクルラック等の仮設設置 ②にぎわい創出施設の建築・オープン（サイクルラック等設置）	①堤防上整備 ②継続	①拠点運営 ②継続	観光交流課

9. 東部地域の活性化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①概ねJR学研都市線以東の地域に存在する豊かな自然や農地などの地域資源を活用し、一層の魅力向上や地域の活性化を図る。 ②「枚方市東部地域の活性化に向けて」（令和4年3月策定）に沿った東部地域活性化の取り組みを推進。	①ツーリズム化の実証実験 ②2025年大阪・関西万博を見据え、新たな特産品・観光コンテンツを創出するとともに、持続可能なビジネス創出による地域活性化に取り組む ・古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	・新たな特産品・観光コンテンツを創出 ・複数の観光ツーリズムの実施 ・古民家活用事業開始	継続	継続	政策推進課、農業振興課、観光交流課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・地域・民間・大学等と連携し、地域資源の農と里山を活かしたプログラムを充実させることで、東部地域を活性化。 ・ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・地域資源を活かした観光コンテンツや特産品の創出支援 ・ツーリズム化の実証実験	・複数の観光ツーリズムの実施 ・特産品の創出支援・販路拡大	継続	継続	政策推進課、農業振興課

11. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
古民家を活用した農泊や農業レストラン開設に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業開始	継続	継続	農業振興課

12. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな観光コンテンツや地域ビジネスモデルを創出。 また、インバウンド向けも含め観光客の増加を目指したツーリズムを構築。	・観光コンテンツの創出に向けた取り組み ・ツーリズム化の実証実験 ・効果的な広報PRの検証 ・外国人のニーズ調査 ・観光協会、DMO及び民間事業者との連携	観光ツーリズムの商品化及び効果的な情報発信	継続	継続	政策推進課、観光交流課

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

1 3. 市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
留学生等と連携したコンテンツ開発、ツーリズム調査、観光協会によるコンテンツ磨きあげへの支援	・留学生等と連携した随時コンテンツの磨きあげ ・ツーリズムの実証 ・観光協会によるコンテンツ磨きあげへの取り組み支援	継続	継続	継続	観光交流課

1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・マッチング促進に向けた会議運営 ・実効性の高いプロジェクト化の検討（必要に応じ部会設置） ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの導入・運用	・共創による、特産品や新たなビジネスの創出 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの運用 ・継続した取り組みの検討	—	—	政策推進課

1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市全体をパビリオンに見立て、市民、企業、事業者、市民団体、大学等、多様な主体と連携し、枚方の魅力向上につながる地域資源を活用した観光事業やイベント等を市内の様々な場所で実施。	・パビリオン事業の参加・参画促進 ・市内外への効果的なPR及び検証	継続	—	—	政策推進課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

16. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・空飛ぶクルマビジネス共創部会で市内での離発着に向けた調査・検証 ・空飛ぶクルマの社会受容性の向上	・市内離発着場所の整備を見据えた空飛ぶクルマの考え方の整理 ・空飛ぶクルマ体験型イベント実施	継続	・国の規制等の動向に注視し、市内での日常的な離発着に向けた可能性検証	継続	政策推進課

17. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪府が実施する大阪・関西万博会場への無料招待に加え、申請日に枚方市に住所を有する満4～17歳（令和7年4月1日時点）の子どもを対象として、無料招待を実施することで、次代を担う子ども達が将来に向けて夢や希望を育む機会を支援。	子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付	・子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付 ・子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待を実施	—	—	政策推進課

18. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪・関西万博会場において、本市の歴史文化や地域資源などの魅力を発信し、本市に誘客することを目的に、府内自治体に参加する催事「大阪ウィーク」や万博首長連合会員自治体が共創する催事「Resolution of LOCAL JAPAN展」に出展。	・大阪ウィークの出展準備 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の出展準備	・大阪ウィークの出展 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の出展	—	—	政策推進課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

19. 枚方フェスティバル協議会の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方まつりの実施及び各イベントを支援する枚方フェスティバル協議会に対し補助金を交付し、各イベントを支援。	・開催時期の検証 ・イベント内容の検証・充実	イベント内容の検証・充実	継続	継続	観光交流課

20. にぎわい空間の創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ニッパーク等で開催されるイベント支援、河川空間におけるにぎわいづくり	・課題整理/検証 ・事業者が活用しやすい仕組みづくりへの検討	新たな仕組みによる事業の具体化	継続	継続	観光交流課

施策シート【19_02】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進							
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
観光消費推計額	観光消費単価×一週間あたり平均滞在者数	1,547,813	1,740,944	1,934,076	2,127,207	千円	観光交流課	1. 観光マーケティング
新たな観光情報発信拠点利用者数	デジタルサイネージ等を活用した令和6年前期にオープンする新たな枚方市観光案内所「Syuku56」の利用者数	30,000	40,000	41,000	42,000	人	観光交流課	2. 新たな観光情報発信拠点の整備
舟運イベント乗船客数	舟運事業者が運航する舟運イベント乗船客数	1,740	2,294	2,847	3,400	人	観光交流課	6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）
東部地域の古民家を活用した観光施設の数	東部地域の古民家を活用した民間宿泊施設等の観光施設の数（延べ）	1	2	3	4	箇所	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援
創出観光コンテンツ数	創出した特産品、参加・体験などの観光コンテンツの数（延べ） ※うち()内は東部地域の数	5（2）	8（5）	11（8）	14（11）	個	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府にきた訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展
民間活力を活用したプロジェクトの実施数（累計）	「癒しの郷氷室・津田～美healthプロジェクト」の実施数	5	6	7	8	件	農業振興課	1 0. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進
共創により生まれた特産品の数	共創により新たに創出された特産品の延べ個数	3	5	7	9	個	政策推進課	1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進
誘客につながる参加体験イベント数	ひらかた万博の取組において地域資源を活かして開催された参加・体験イベント等の数	55	60	—	—	事業	政策推進課	1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施
空飛ぶクルマビジネス共創部会の事業数	空飛ぶクルマビジネス共創部会（効果検証、可能性検証、社会受容性向上グループ）で取り組む事業数（延べ）	3	4	5	6	件	政策推進課	1 6. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備

施策シート【19_02】－ 施策指標

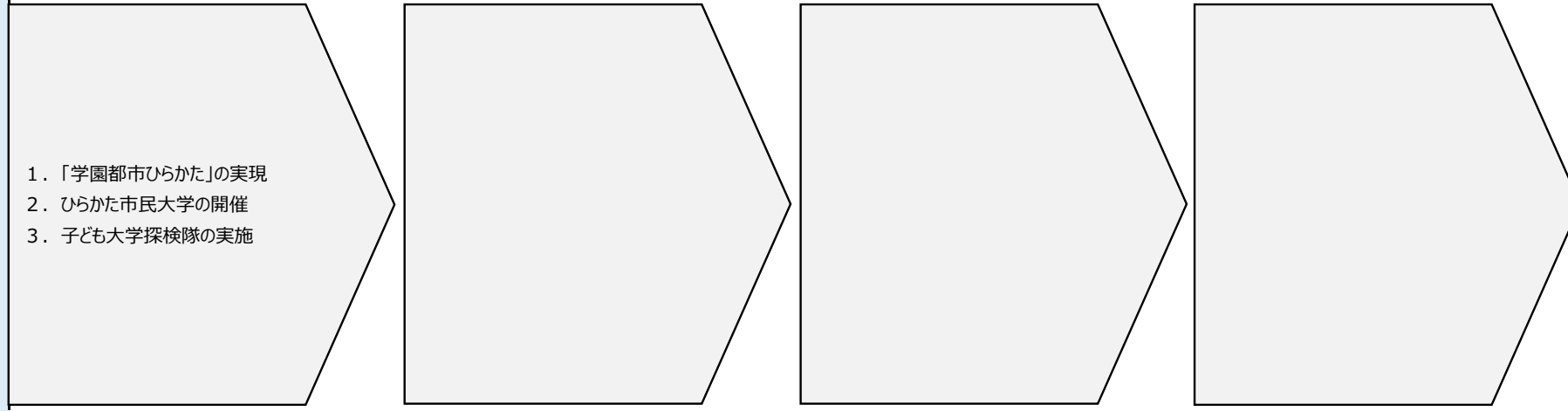
総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方まつりの来場者数	枚方まつりの来場者数	103,000	106,000	109,000	112,000	人	観光交流課	19．枚方フェスティバル協議会の支援
にぎわい空間創出事業来場者数	ニッパーク岡東中央等において、市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う「にぎわい空間創出事業」における来場者数	12,824	14,106	15,517	17,068	人	観光交流課	20．にぎわい空間の創出

施策シート【19_03】

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称		若者の交流機会の創出					
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち					
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち					
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている					
概要		大学の知的資源をまちづくりに活かすため、大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
							
	1.「学園都市ひらかた」の実現						
	2.ひらかた市民大学の開催						
	3.子ども大学探検隊の実施						

施策シート【19_03】－ 具体的な取り組み

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出
------	------------

1. 「学園都市ひらかた」の実現

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「学園都市ひらかた」の実現に向けて、枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を実施。	・協議会・幹事会を開催 ・調査・研究及び連絡調整を実施	継続	継続	継続	政策推進課

2. ひらかた市民大学の開催

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座を開催。専門的な知識・情報を提供する講座を各大学で実施。	大学と連携し、事業を実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課

3. 子ども大学探検隊の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験を実施。	大学と連携し、事業を実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課

施策シート【19_03】－ 施策指標

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市と大学との連携事業に参加した学生数	イベントの開催など市と市内大学との連携事業に参加した学生数	1,800	1,900	2,000	2,100	人	政策推進課	1. 「学園都市ひらかた」の実現
ひらかた市民大学の参加者数	ひらかた市民大学に参加した人数	200	200	200	200	人	文化生涯学習課	2. ひらかた市民大学開催事業
子ども大学探検隊の参加者数	子ども大学探検隊に参加した人数	250	250	250	250	人	文化生涯学習課	3. 子ども大学探検隊の実施

施策シート【19_04】

観光にぎわい部

施策名称		国際化施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		国際交流活動を推進し、多文化共創に向けた異文化への理解を図るとともに、市内の国際化に向けて取り組む。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 国際交流の推進				
	R7年度				
	1. 国際交流の推進 ○内容の具体化				
	R8年度				
R9年度					

施策シート【19_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	国際化施策の推進
------	----------

1. 国際交流の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
海外友好都市との交流等、国際交流推進に係る事業を実施。	海外友好都市との交流等、国際交流推進に係る事業を実施及び拡充の検討をしていく	拡充	継続	継続	観光交流課

施策シート【19_04】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称		国際化施策の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
海外友好都市との交流をはじめとする国際交流事業の参加人数	交流事業の参加人数	1,034	1,153	1,264	1,264	人	観光交流課	1. 国際交流の推進

施策シート【20_01】

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称		雇用対策の充実			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	20.いきいきと働くことのできるまち			
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている			
概要		就労困難者に対する就労支援、新たな雇用機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度	
	R9年度				
	1. 奨学金の返還支援 2. 地域の就労支援と雇用対策 3. 生活保護受給者の自立支援 4. 生活困窮者の自立支援		1. 奨学金の返還支援 ○若年層を対象とした奨学金補助の実施		

施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実
------	---------

1. 奨学金の返還支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
就職者の経済的な負担の軽減と安定した就労の支援、中小企業の人材確保に資することを目的に、奨学金返還を支援。	就職氷河期世代を対象とした奨学金補助の継続 ・若年層を対象とした奨学金補助制度の創設に向けた準備	・就職氷河期世代を対象とした奨学金補助の継続 ・若年層を対象とした奨学金補助制度の実施	継続	継続	商工振興課

2. 地域の就労支援と雇用対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①様々な就労阻害要因による就労困難者へ就労を支援 ②地域産業の発展と安定的な雇用環境の確保に向けて、企業の求人開拓・就職機会を提供 ③製造業を主とした市内中小企業の人材確保と若年者の安定雇用を図り、地域経済を活性化。	・地域就労支援センターにおける相談事業等の就労への支援 ・合同企業就職面接会を通じ就労機会を提供	継続	継続	継続	商工振興課

3. 生活保護受給者の自立支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
主に稼働年齢層にある稼働能力を有する保護受給者及び保護申請者に対し、就職による早期自立が図れるよう、就労意欲を喚起し、求職活動の支援、就職後の定着支援等を実施。	・就労支援プログラムの参加者に対する求職活動の支援 （就労支援員によるカウンセリングや就労に向けた意欲喚起、履歴書・職務経歴書の作成、面接等のトレーニング、求人情報の提供やハローワークへの同行など） ・自立への援助として、就労開始後に定着支援のカウンセリングを実施	継続	継続	継続	生活福祉課

施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実
------	---------

4. 生活困窮者の自立支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
<生活困窮者自立支援事業> 生活困窮者に係る相談を受け、関係機関と連携し、継続的・寄り添い型の対応を通じて、自立に向けた包括的な支援を実施。	・自立相談支援センターにおいて、生活困窮者からの相談及び自立に向けた継続的・寄り添い型の支援を実施 ・生活困窮者が抱える課題の評価・分析を行い、自立に向けたプランを作成 ・ハローワーク枚方や枚方市社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、就労支援等の自立に向けた支援を実施	継続	継続	継続	健康福祉 総合相談 課、生活福祉課

施策シート【20_01】－ 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
奨学金返還支援補助金の交付件数	就職氷河期世代及び若年層を対象とした奨学金の返還を支援する補助金の交付件数	3	8	9	10	件	商工振興課	1. 奨学金の返還支援
地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	65	67	69	71	人	商工振興課	2. 地域の就労支援と雇用対策
就労決定した者のうち、就労定着3カ月以上した人数、及び就労自立し保護廃止となった人数	就労決定した者のうち、就労定着3カ月以上した人数、及び就労自立し保護廃止となった人数	60	65	70	75	人	生活福祉課	3. 生活保護受給者の自立支援
就労支援対象者（生活保護受給者・生活困窮者）のうち就労に結びついた人数	生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数	190	200	210	220	人	健康福祉総合相談課、生活福祉課	3. 生活保護受給者の自立支援 4. 生活困窮者の自立支援

施策シート【21_01】

観光にぎわい部

施策名称		市内産業の活性化	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標等	21.地域産業が活発に展開されるまち	
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている	
概要		新たな事業展開に取り組める環境づくりや商店街の活性化等、市内産業の振興に取り組むとともに、企業誘致の促進を図る。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	1. ふるさと納税を活用した商品開発支援 2. 地域一体型のオープンファクトリーの開催 3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止 4. 工場立地法に係る緑地規制基準の緩和 5. 地域産業基盤の強化 6. 中小企業の魅力発信支援 7. 中小企業の設備導入等支援 8. 商店街等の活性化促進		
	R7年度		
	R8年度	1. ふるさと納税を活用した商品開発支援 ○ふるさと納税3.0の創設 3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止 ○産業用地のデータベースの運用開始	
	R9年度		

施策シート【21_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化
------	----------

1. ふるさと納税を活用した商品開発支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域産業の活性化を図るため、「ふるさと納税3.0」を創設し、ものづくり企業の商品開発を支援する。	・産業振興対策審議会での審議 ・調査、研究	ふるさと納税3.0の創設に向けた準備	ふるさと納税3.0の創設	ふるさと納税3.0の運用	商工振興課

2. 地域一体型のオープンファクトリーの開催

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
まちの魅力発信や地域の活性化につなげるため、2025年の大阪・関西万博を見据え、ものづくり企業の魅力を伝える機会として、オープンファクトリーを開催。	・オープンファクトリー事業において、参加企業の増加や対象層を求職者向けにも拡大 ・外国語版の案内や動画配信等、ビジネスマッチングにつながるようPRを強化	継続	継続	継続	商工振興課

3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
産業用地にかかる企業ニーズ、用地情報を共有する仕組みづくり。操業環境の整備に向けた支援策の検討。	【移転・誘致】 ・産業用地の情報発信及び体制整備に向けた調整 ・三者連携協定を活用した産業用地の情報共有やデータベース化の仕組みを検討 ・関係機関と協議しながら、課題整理を行う	産業用地のデータベース化	産業用地のデータベースの運用	継続	商工振興課

4. 工場立地法に係る緑地規制基準の緩和

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ものづくり企業の操業環境を整備するため、工場立地法に係る、緑地規制基準を緩和。	市内工場の緑地に関する調査を実施	緑地規制基準の見直し・条例制定	・制度の周知 ・適正な協議及び効率的に事務を執行	継続	商工振興課

施策シート【21_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化
------	----------

5. 地域産業基盤の強化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
企業等の経営基盤の強化及び新たな雇用の創出につなげるため、地域産業基盤強化奨励金を交付することにより、企業等の設備投資を促進。	引き続き市内事業者へ周知を図り、申請に対し適正に補助金を交付	継続	継続	継続	商工振興課

6. 中小企業の魅力発信支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市内企業の優れた技術や製品を市内外に広く発信するべく、販路開拓やビジネスチャンスの拡大を目的に開催する展示商談会等に参加する市内中小企業者を支援。	支援を継続しつつ、社会情勢の変化に応じて、適宜支援対象や支援内容の見直しを検討	継続	継続	継続	商工振興課

7. 中小企業の設備導入等支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
騒音・振動・臭気を低減する設備の導入等を行う中小企業者を対象に、対象経費の2分の1を補助する。（上限5,000,000円） 令和5年4月に要綱改正を行い、予防的措置にも活用できるよう補助金の対象を拡充したことから関係団体等への周知を図り、交付件数の増加に努める。	関係団体等への周知	継続	継続	継続	商工振興課

8. 商店街等の活性化促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・市内の商店街の活性化に関する事業を主体的に企画し、実施する商業団体に対して補助金を交付することにより、商店街等の活性化を促進。 ・市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指すため、商店街等活性化促進事業補助金の補助対象を拡大。	・支援を継続しつつ、社会情勢の変化に応じて、適宜支援対象や支援内容の見直しを検討する。 ・商店街等活性化促進事業補助金の補助対象団体の拡充	継続	継続	継続	商工振興課

施策シート[21_01]ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化
------	----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	0	0	3	3	件	商工振興課	1. ふるさと納税を活用した商品開発支援
オープンファクトリーの参加事業者数（累計）	ものづくり企業の魅力を伝える機会をはじめ、まちの魅力発信や地域の活性化につながるオープンファクトリーに参加する事業者数（累計）	15	18	21	24	者	商工振興課	2. 地域一体型のオープンファクトリーの開催
産業用地のデータベースへの登録件数	産業用地にかかる企業ニーズ・用地情報を共有するデータベースへ新たに登録した件数	0	1	2	3	件	商工振興課	3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止
地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数（累計）	地域産業基盤強化奨励金制度の認定を受けて、市内の産業集積地域において製造業事業者が新規立地や設備投資を行った件数（累計）	34	36	38	40	件	商工振興課	5. 地域産業基盤の強化
市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数	市内企業が市の支援を受けて各種展示会に出展し販売拡大に取り組んだ件数	18	19	20	21	件	商工振興課	6. 中小企業の魅力発信支援
住工共生環境対策支援事業補助金の交付決定から３年間、操業を継続している市内の事業者の割合	操業を継続している市内の事業者の総数／住工共生環境対策支援事業補助金の交付決定を行った市内の事業者の総数	100	100	100	100	%	商工振興課	7. 中小企業の設備導入等支援
商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数	商店街が市の支援制度を活用して活性化に取り組んだ件数	12	13	14	15	件	商工振興課	8. 商店街等の活性化促進
市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	13	14	15	16	事業者	商工振興課	8. 商店街等の活性化促進

施策シート【21_02】

観光にぎわい部

施策名称		創業（起業）できる環境づくりの充実			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	21.地域産業が活発に展開されるまち			
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている			
概要		創業・起業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 創業・起業の支援 ○地域活性化支援センターのリニューアルオープン 2. 新産業の創出			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【21_02】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実
------	-------------------

1. 創業・起業の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
手厚いサポートのある関西一創業しやすい街枚方を目指して、地域活性化支援センターの利用環境の整備を図り、北大阪商工会議所等と連携しながら、創業を支援。	・地域活性化支援センターのリニューアルオープン ・事業承継セミナー開催	・地域活性化支援センターにおける創業支援のさらなる充実 ・事業承継セミナー開催	継続	継続	商工振興課

2. 新産業の創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市や関係機関が伴走支援し、学びと実践の場を提供する若手起業家を対象としたプログラムを実施するなど、地域活性化支援センターにおいて新産業の創出を支援。	若手起業家支援事業「起業街道 枚方塾」を引き続き実施	継続	継続	継続	商工振興課

施策シート【21_02】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	360	365	370	375	人	商工振興課	1. 創業・起業の支援
市の創業支援を受けて創業した件数	地域活性化支援センターにおける創業支援を受けて実際に創業した件数	29	30	31	32	人	商工振興課	1. 創業・起業の支援
地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者のうち、事業着手した割合	地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者の総数（定員4名）／地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者の総数（4名）	100	100	100	100	%	商工振興課	2. 新産業の創出

施策名称		農業の担い手の育成、就農促進						
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち						
	施策目標等	22.農を守り、生かすまち						
めざす姿（主観的満足度）		農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされている						
概要		農業の担い手を育成し、就農を促進する。						
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度		
	1．新規就農者の育成支援 2．本市の特産物を活かした新たな商品開発 3．農業の産業化の促進 4．農畜産物の販売支援 5．農業ふれあい体験の実施		1．新規就農者の育成支援 ○地域計画を踏まえて農地のマッチングを実施				2．本市の特産物を活かした新たな商品開発 ○商品化	

施策シート【22_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進
------	----------------

1. 新規就農者の育成支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
研修機関と連携し、新規就農者の確保及び就農後の規模拡大に向けてソフト面で販路・農地のマッチングを支援。 将来発生が予想される遊休農地を効果的に活用するため、新規就農者を生かした地域計画を策定。	・就農相談窓口の設置・案内強化 ・研修機関と連携強化 ・SNS・パンフレットによる周知強化	地域計画を踏まえて農地のマッチングを実施	継続	継続	農業振興課

2. 本市の特産物を活かした新たな商品開発

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・ひらかた万博ブランドとしての特産物を創出 ・6次産業化を活用した商品開発 ・摂南大学農学部と連携した取り組み強化	・ぶどう、カラマンシー、竹など特産物の研究 ・苗木購入	・試験栽培 ・商品化の検討	継続	商品化	農業振興課

3. 農業の産業化の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農薬の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物の推進に向けた普及啓発	エコ農産物や地産地消の推進に向けた普及啓発	継続	継続	継続	農業振興課

4. 農畜産物の販売支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農業者団体が行う自家生産の農畜産物を市民へ直接対面販売する直販事業に助成	市内各所で「ふれあい朝市」を開催	継続	継続	継続	農業振興課

5. 農業ふれあい体験の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農家が収穫した農作物の収穫体験イベントを実施。 小学生を対象とした食農体験学習（農作物の植え付け、収穫、試食など）を実施	・農家が収穫した農作物の収穫体験イベントを実施 ・小学生を対象とした食農体験学習（農作物の植え付け、収穫、試食など）を実施	継続	継続	継続	農業振興課

施策シート[22_01]ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進
------	----------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新規就農者（研修修了生）の延べ耕作面積	新規就農者（研修修了生）が就農後に耕作する面積。	0	0.4	0.8	1.2	ha	農業振興課	1. 新規就農者の育成支援
認定農業者及び認定新規就農者（累計）	農業経営基盤強化促進法に基づき本市が認定した農業者数（意欲的な担い手である「認定農業者」と新規に農業を開始した「認定新規就農者」）	1	2	3	4	人	農業振興課	1. 新規就農者の育成支援
新たなエコ農産物認証申請人数（累計）	農業の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物認証を新たに申請する人数	1	2	3	4	人	農業振興課	3. 農業の産業化の促進
市内各所での「ふれあい朝市」実施団体への支援団体数	枚方市駅周辺をはじめとした市内各所での「ふれあい朝市」を開催する団体へ支援を行う団体数	9	9	10	10	団体	農業振興課	4. 農畜産物の販売支援
農業ふれあい体験者数	地元農家が育てた野菜などを収穫する農業ふれあいツアーの体験者数	1,700	1,750	1,800	1,850	人	農業振興課	5. 農業ふれあい体験の実施
食農体験学習体験者数	地元農家の指導により植え付けから収穫までを連続的に体験する食農体験学習を体験した児童数	700	710	720	730	人	農業振興課	5. 農業ふれあい体験の実施

施策シート【23_01】

観光にぎわい部、土木部

施策名称		里山など豊かな自然空間の保全・継承		
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		
	施策目標等	23.豊かな自然環境を大切にするまち		
めざす姿（主観的満足度）		里山や農地などの豊かな自然環境が保全されている		
概要		里山など豊かな自然空間の保全・継承を図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	R7年度			
	R8年度			
	R9年度			

施策シート【23_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、土木部

施策名称	里山など豊かな自然空間の保全・継承
------	-------------------

1. 里山の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・里山講座（森林ボランティア育成事業）の開催。 ・里山保全活動の推進。	・里山講座の開催 ・竹林整備・植物観察会（春・秋）等の開催 ・里山保全活動8団体が実施する東部地域の里山保全活動を支援	継続	継続	継続	農業振興課

施策シート【23_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、土木部

施策名称	里山など豊かな自然空間の保全・継承
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
森林ボランティア育成講座修了者数 （累計）	森林ボランティア育成講座の受講者のうち 規定の日数に出席し修了証を取得した人 数（累計）	430	450	470	490	人	農業振興課	1. 里山保全事業
里山保全活動団体の活動日数（累 計）	東部地域で活動する里山保全活動団体の 年間活動日数（累計）	4,600	4,800	5,000	5,200	日	農業振興課	1. 里山保全事業
緑地面積	都市公園やそれに準じる施設、緑地保全 地域などの法律や条例などで土地利用を管 理して確保する緑地など、将来にわたって確 保される可能性の高い担保性のある緑地 面積	1,529	1,530	1,532	1,533	ha	公園みどり課	-

施策シート【24_01】

土木部

施策名称		自然とふれあい親しめる場の確保			
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			
	施策目標等	24.まちなかのみどりを育てるまち			
めざす姿（主観的満足度）		普段の生活の中でみどりとふれあえる			
概要		自然とふれあい親しめる場の確保を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	1. 子どもがワクワクするような公園の整備			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【24_01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	自然とふれあい親しめる場の確保
------	-----------------

1. 子どもがワクワクするような公園の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
公園に幼児用遊具や休憩施設等を設置し、親子が安全で落ち着いて遊べる空間づくりを推進。	・利用者ニーズの把握、遊具整備に向けた計画策定 ・設計 ・連携事業の検討	・遊具設置工事の実施 ・連携事業の実施	継続	継続	公園みどり課

施策シート[24_01]－ 施策指標

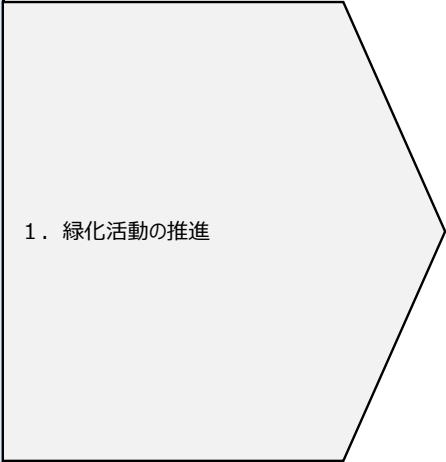
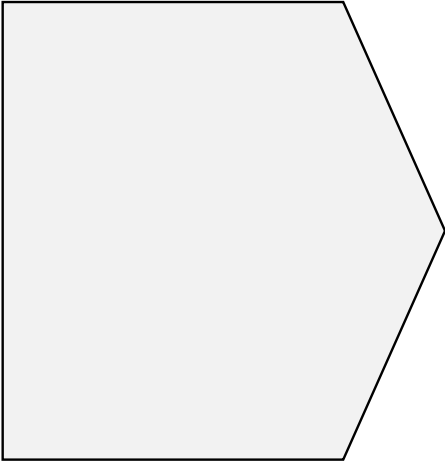
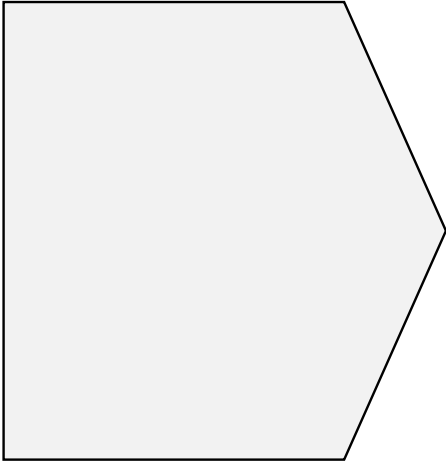
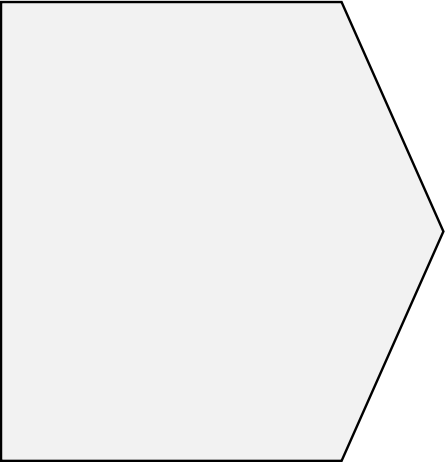
土木部

施策名称	自然とふれあい親しめる場の確保
------	-----------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
親子で楽しめる遊び場等のある公園の整備数	公園整備数	0	3	3	3	公園	公園みどり課	1. 公園への幼児や親子が遊べる遊具等の設置

施策シート【24－02】

土木部

施策名称		緑化活動の活性化			
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			
	施策目標等	24.まちなかのみどりを育てるまち			
めざす姿（主観的満足度）		普段の生活の中でみどりとふれあえる			
概要		まちなかのみどりや、子育て世帯など幅広い世帯の人々にとっての憩い野場となる公園、河川敷などの緑地空間を守る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				1. 緑化活動の推進
	R7年度				
	R8年度				
R9年度					

施策シート【24－02】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	緑化活動の活性化
------	----------

1. 緑化活動の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
緑化活動の推進	公共・公益施設整備基準で定められている基準等に基づき協議を実施	継続	継続	継続	公園みどり課

施策シート【24-02】- 施策指標

土木部

施策名称		緑化活動の活性化						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
緑地面積	都市公園やそれに準じる施設、緑地保全地域などの法律や条例などで土地利用を管理して確保する緑地など、将来にわたって確保される可能性の高い担保性のある緑地面積	1,529	1,530	1,532	1,533	ha	公園みどり課	1. 緑化活動の推進
各年度における街路樹延長距離	市道の緑化済道路延長距離	0	1508	180	0	m	道路河川整備課	-

施策シート【25_01】

環境部

施策名称		ごみ発生抑制を最優先にした4Rの推進		
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		
	施策目標等	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち		
めざす姿（主観的満足度）		ごみ減量や資源循環が進んでいる		
概要		循環型社会の形成に向け、ごみの発生抑制に取り組みます。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	1. 次期一般廃棄物処理基本計画の策定			
	2. 4R活動の推進			
	3. 効率的なごみ収集処理の推進			
	4. 事業系ごみの減量指導と手数料の適正化			
	5. DX等によるごみ収集の最適化			
	R7年度			
	4. 事業系ごみの減量指導と手数料の適正化			
	○事業系ごみ処理手数料を120円/10kgから150円/10kgに改定			
	R8年度			
	R9年度			

施策シート【25_01】ー 具体的な取り組み

環境部

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした4Rの推進
------	--------------------

1. 次期一般廃棄物処理基本計画の策定

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
次期一般廃棄物処理基本計画を策定し、資源循環施策を推進。	次期基本計画に盛り込む施策等の検討	・廃棄物減量等推進審議会へ諮問 ・次期基本計画の策定	—	—	循環型社会推進課

2. 4R活動の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・事業者と連携することにより、食品を必要とする団体等へ無償で譲渡するフードドライブを実施。 ・家庭用電気式生ごみ処理機の購入補助制度を導入し、生ごみの減量を推進。 ・粗大ごみから再利用できるものをピックアップし、リユースを推進。 ・資源となる鉄類等の再資源化を推進。 ・再生資源集団回収報償金制度の見直し。	・フードドライブの実施 ・家庭用生ごみ処理機制度設計・実施 ・リユース事業実証実験 ・ごみの再資源化 ・再生資源集団回収報償金普及・啓発、提出様式の見直し ・WEB申請の検討	・再生資源集団回収報償金様式改訂、報償金の見直しの検討 ・ごみの再資源化鉄類等のさらなる再資源化	・家庭用生ごみ処理機補助制度の検証 ・リユース事業本格実施	継続	循環型社会推進課、穂谷川資源循環センター

3. 効率的なごみ収集処理の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
平成31年1月に策定した「ごみ収集業務体制見直し実施計画」に基づき、段階的に一般ごみ収集業務の委託化を進め、2人乗務体制に変更。	直営車両5台を委託化し、2人乗務に変更 ※ 委託率80%	—	—	—	環境事業課

施策シート【25_01】ー 具体的な取り組み

環境部

施策名称	ごみ発生抑制を最優先にした4Rの推進
------	--------------------

4. 事業系ごみの減量指導と手数料の適正化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
事業系ごみの減量指導を行うとともに、廃棄物処理法による排出事業者責任の考え方に基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう事業系ごみ処理手数料の適正化を推進。	多量排出事業者への減量指導	多量排出事業者への減量指導、事業系ごみ処理手数料を120円/10kgから150円/10kgに改定	継続	継続	循環型社会推進課

5. DX等によるごみ収集の最適化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ごみ収集業務において効率的な収集データ等の管理を行う運行管理システムを導入。	・システムの構築	・資源収集車両8台による2年間のシステム実証開始 ・機能の確認とデータ管理の構築	・新コースや前年度のデータ移行に問題が無いか検証 ・システム全般の最終確認	運行管理システム本格導入	環境事業課

施策シート【25_01】－ 施策指標

環境部

施策名称		ごみ発生抑制を最優先にした4Rの推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
4Rの推進	生ごみの減量・減容に取り組む市民の数 (延べ人数)	44	132	220	308	人	循環型社会推進課	2. 4R活動の推進
多量排出事業者数	事業活動に伴って月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する事業者の数	80	79	78	77	社	循環型社会推進課	4. 事業系ごみの減量指導と手数料の適正化
ごみ収集管理に係る業務時間数	収集時間、走行距離、回送距離、作業時間、間違いごみ内容等の記録のデータ化、委託車両の巡視等に係る業務時間数	7,472	6,986	6,986	0	時間	環境事業課	5. DX等によるごみ収集の最適化
市民1人当たりのごみの排出量	ごみの排出量(一日あたり)／人口	784	785	785 (仮定値)	785 (仮定値)	g/人・日	循環型社会推進課	-
ごみの資源化率	ごみを資源化した量／ごみの排出量	19.4	19.4	19.4 (仮定値)	19.4 (仮定値)	%	循環型社会推進課	枚方市一般廃棄物処理基本計画
ごみの焼却量	本市の清掃工場において焼却処理をしたごみの量	89,288	88,844	88,408 (仮定値)	87,972 (仮定値)	t	循環型社会推進課	枚方市一般廃棄物処理基本計画
最終処分量	焼却灰などを最終処分場で埋め立てた量	10,591	10,649	10,597 (仮定値)	10,545 (仮定値)	t	循環型社会推進課	枚方市一般廃棄物処理基本計画

施策シート【26_01】

環境部

施策名称		大気・土壌汚染等の公害の未然防止			
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち			
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている			
概要		大気・土壌汚染等の郊外の未然防止を図り、良好な生活環境を確保する。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	1. 公害の未然防止			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【26_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	大気・土壌汚染等の公害の未然防止
------	------------------

1. 公害の未然防止

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市内の大気質の測定及び河川等における水質の測定並びに市内における環境騒音の測定。	・大気汚染測定局（一般局・自排局）での大気汚染物質に係る大気質の測定 ・市内河川等における水質の測定 ・道路沿道及び一般地域における環境騒音の測定	継続	継続	継続	環境指導課

施策シート[26_01]－ 施策指標

環境部

施策名称	大気・土壌汚染等の公害の未然防止
------	------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
環境基準（大気・水質・騒音）の達成状況	環境監視による大気・水質・騒音の環境基準達成度	100	100	100	100	%	環境指導課	1. 公害の未然防止

施策シート【26_02】

環境部

施策名称		産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進		
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち		
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている		
概要		産業廃棄物などの発生抑制や適性処理を推進し、良好な生活環境を確保する。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
		1. 産業廃棄物の適正処理指導		
	R7年度			
	R8年度			
	R9年度			

施策シート【26_02】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進
------	----------------------

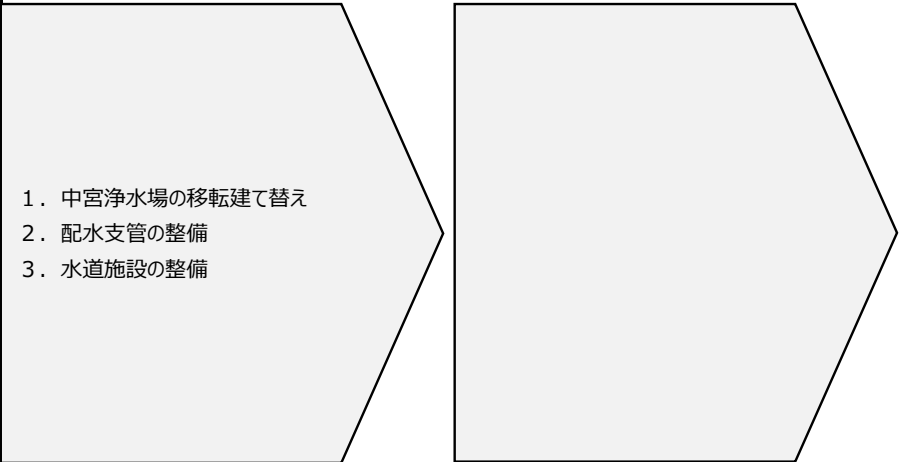
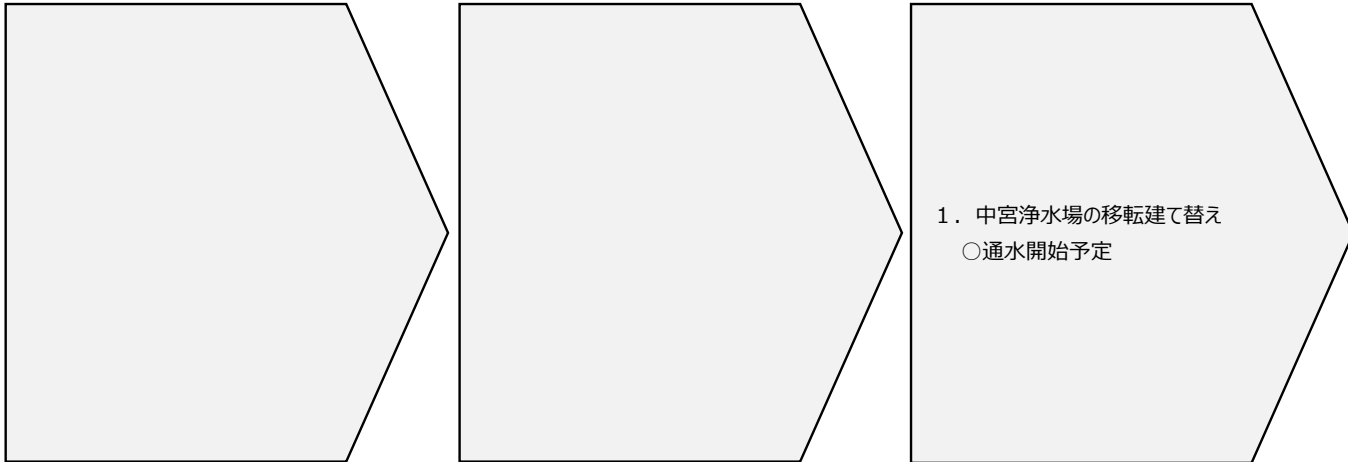
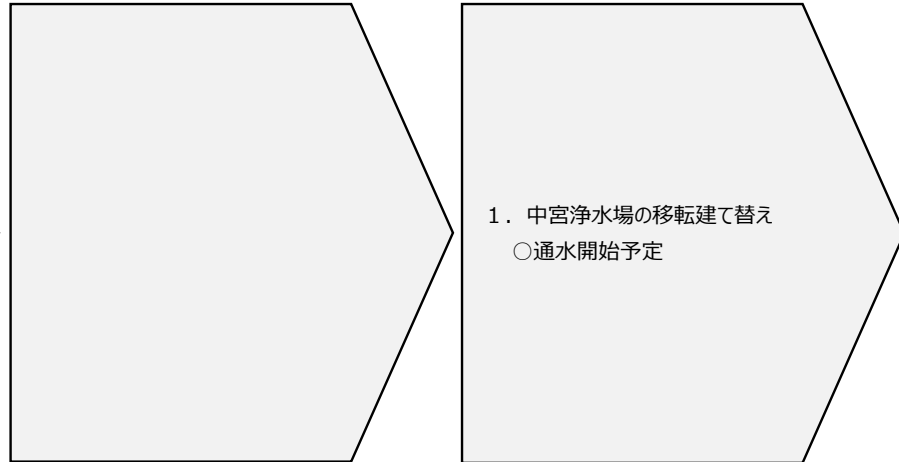
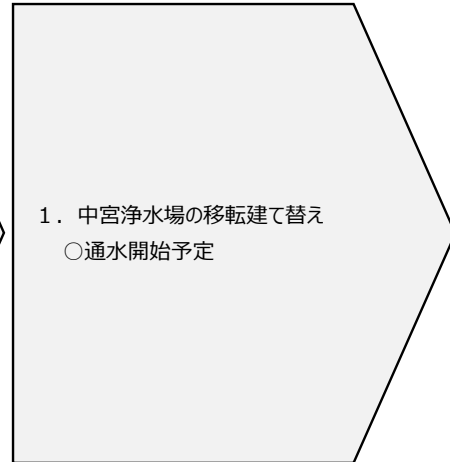
1. 産業廃棄物の適正処理指導

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
産業廃棄物を処理する事業者に対し、法令に従った適正処理の指導を実施。	・産業廃棄物処理業者に対し立入検査を行って適正処理に係る指導 ・排出事業者及びPCB廃棄物保管事業者に対し産業廃棄物の適正処理について指導 ・当該事業を遂行できる人材育成を行う	継続	継続	継続	環境指導課

施策シート[26_02]－ 施策指標

環境部

施策名称		産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
産業廃棄物処理業者に対する優良認定の啓発率	産業廃棄物処理業者の全業者に対する優良認定の取得促進のために啓発した割合 (算出式：啓発した許可業者数／全許可業者数)	100	100	100	100	%	環境指導課	1. 産業廃棄物の適正処理指導
全産業廃棄物処理業者に対する立入検査率	産業廃棄物処理の全業者に対する立入検査の割合（算出式：立入検査を行った業者数／全産業廃棄物処理業者）	100	100	100	100	%	環境指導課	1. 産業廃棄物の適正処理指導

施策名称		安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給	
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている	
概要		市民の生活や産業活動を支えるため、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給する。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	R7年度		
	R8年度		
	R9年度		
		1. 中宮浄水場の移転建て替え ○通水開始予定	

施策シート【26_03】－ 具体的な取り組み

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給
------	-----------------------

1. 中宮浄水場の移転建て替え

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
老朽化が進み耐震性が不足する中宮浄水場の移転建て替えに取り組む。	膜ろ過棟・前処理施設築造	・膜ろ過棟、前処理施設、薬品貯蔵棟、濃縮槽築造 ・プラント工事 ・シールド工事	・濃縮槽築造 ・プラント工事 ・シールド工事 ・外構工事 ・試験運転	・外構工事 ・試験運転 ・通水開始予定	浄水課

2. 配水支管の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
老朽管路の更新・耐震化	更新による管路の耐震化を実施	継続	継続	継続	上水道工務課

3. 水道施設の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
送配水管を除く水道施設の更新・改良及び耐震化を実施	・磯島取水場更新基本設計 ・妙見山配水池更新基本設計 ・その他施設の更新・改良	妙見山配水池更新実施設計	磯島取水場更新実施設計	妙見山配水池更新工事	浄水課

施策シート【26_03】－ 施策指標

上下水道部

施策名称	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給
------	-----------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
耐震性能を有する浄水施設の割合	耐震対策の施された浄水施設能力／全浄水施設能力	0	0	0	84.6	%	浄水課	1. 中宮浄水場の移転建て替え
耐震性能を有する水道管路の割合	耐震性能を有する水道管路延長距離／水道管路延長距離	29.5	29.9	30.2	30.6	%	上水道工務課	2. 配水支管の整備
水道施設（送配水管を除く）の更新等実施件数	水道施設（送配水管を除く）の更新・改良及び耐震化に係る事業（設計・工事）実施件数	6	6	9	10	件数	浄水課	3. 水道施設の整備

施策シート【26_04】

保健所、環境部、上下水道部

施策名称		生活排水等の適正処理		
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち		
めざす姿（主観的満足度）		安全で良好な生活環境が確保されている		
概要		河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るために、公共下水道の整備を促進するとともに生活排水等の適正処理を進める。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			

施策シート【26_04】－ 具体的な取り組み

保健所、環境部、上下水道部

施策名称	生活排水等の適正処理
------	------------

1. 生活排水の適正処理の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
公共下水道の整備を推進するとともに、公共下水道整備計画区域外においては、合併処理浄化槽による生活排水の適正処理を推進。	・公共下水道の整備及び接続の推進 ・浄化槽による適正処理の推進 ・市民に対する啓発活動	継続	継続	継続	保健衛生課、希釈放流センター、環境指導課、上下水道政策課、下水道管理課

2. 公共下水道（污水）の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
整備済み区域内に点在する未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。	公共下水道（污水）の整備	継続	継続	継続	上下水道政策課、下水道整備課

施策シート[26_04]－ 施策指標

保健所、環境部、上下水道部

施策名称	生活排水等の適正処理
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
生活排水の適正処理率	生活排水の処理人口（公共下水道接続人口＋合併処理浄化槽処理人口等）／行政人口	98.5	98.6	98.6 （仮定値）	98.7 （仮定値）	%	循環型社会推進課	1. 生活排水の適正処理の促進
公共下水道（污水）の人口普及率	公共下水道整備人口／行政人口	97.6	97.6	97.7	97.8	%	上下水道政策課、下水道整備課	2. 公共下水道（污水）の整備

施策シート【27_01】

環境部

施策名称		ゼロカーボンシティの推進			
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			
	施策目標等	27.地球温暖化対策に取り組むまち			
めざす姿（主観的満足度）		地球温暖化の取り組みが進んでいる			
概要		再生可能エネルギーの利用拡大、環境教育・学習の推進、省エネルギーの推進を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 再エネ・省エネ・EV等の普及促進 ○導入支援補助の実施			
		2. 電力の一括購入と再エネ導入			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【27_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	ゼロカーボンシティの推進
------	--------------

1. 再エネ・省エネ・EV等の普及促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ため池等を活用した再エネ導入のモデルを示すとともに、二酸化炭素排出量の削減に繋がる再エネ・省エネ・EV等の取り組みに対して補助金を交付。	・太陽光発電設置工事を実施し、地産地消の再エネ供給開始（モデル事業） ・再エネ・省エネ・EV等の導入支援補助の実施	継続	継続	継続	環境政策課

2. 電力の一括購入と再エネ導入

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
各施設の電力購入契約期間を統一化するとともに、契約を一本化。令和5年度に実施した「公共施設への再エネ設備導入可能性調査」の結果などをもとに、様々な再エネ導入手法や省エネ化の検討を行い、スケールメリットを活かした電気の一括購入と再生可能エネルギー・省エネ設備の導入などを一体的に実施。	・再生可能エネルギー導入 ・エネルギーマネジメント ・省エネ改修と電力の一括購入に向けた検討と事業者の選定	電力の一括購入と再生可能エネルギー及び省エネ設備の導入の段階的な実施	継続	継続	環境政策課

施策シート【27_01】－ 施策指標

環境部

施策名称	ゼロカーボンシティの推進
------	--------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）	平成25（2013）年度比の市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率	25.4 [R4年度実績]	28.1 [R5年度実績]	30.8 [R6年度実績]	33.5 [R7年度実績]	%	環境政策課	1. 再エネ・省エネ・EV等の普及促進
市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率（2020年度比）	令和2（2020）年度比の市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率	6.8 [R4年度実績]	10.1 [R5年度実績]	13.5 [R6年度実績]	16.9 [R7年度実績]	%	環境政策課	1. 再エネ・省エネ・EV等の普及促進
家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）	基準年度（平成25(2013)年度）比の家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率	35.5 [R4年度実績]	39.3 [R5年度実績]	43.2 [R6年度実績]	47.0 [R7年度実績]	%	環境政策課	1. 再エネ・省エネ・EV等の普及促進
家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率（2020年度比）	令和2（2020）年度比の家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率	10.7 [R4年度実績]	16.0 [R5年度実績]	21.3 [R6年度実績]	26.7 [R7年度実績]	%	環境政策課	1. 再エネ・省エネ・EV等の普及促進
市有建築物等における太陽光発電容量	市有建築物等における太陽光発電の総出力	1,421	1,546	1,671	1,796	kW	環境政策課	2. 電力の一括購入と既存施設への再エネ導入
令和12(2030)年度までに温室効果ガス総排出量を平成25(2013)年度比で51%以上削減	平成25（2013）年度比の市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量の削減率 【削減量（※市の事務事業）/基準年度における市の事務事業に係る温室効果ガス排出量】	39.7	42.1	44.0	46.2	%	環境政策課	枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

施策シート【28_01】

環境部、都市整備部、土木部

施策名称		景観に配慮した美しいまち並みの形成		
総合計画体系	基本目標等	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		
	施策目標等	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち		
めざす姿（主観的満足度）		まちの美化が進んでいる		
概要		道路・公園等の美化活動の促進、歴史的景観の保全、地域特性に応じた魅力あふれる景観づくりを図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			

施策シート【28_01】－ 具体的な取り組み

環境部、都市整備部、土木部

施策名称	景観に配慮した美しいまち並みの形成
------	-------------------

1. 歴史的景観の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
歴史的な街並み景観の保全のため街道沿いに残された貴重な町家の保全や、一般の建物の歴史的な修景について建物所有者等と調整を行い、建造物等の外観等の修復、復元等に要する経費の一部を助成。	修景補助金を交付	継続	・修景補助金を交付 ・社会資本総合整備計画の次期計画の提出	修景補助金を交付	住宅まちづくり課

2. 都市景観の形成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
景観法、屋外広告物法を活用し、市民や事業者とともに地域の特性を生かした良好なまち並み形成を図るため、一定規模以上の建築物等や歴史的な街並み等の景観誘導を実施。	・一定規模以上の建築物等の景観誘導 ・景観アドバイザー制度の活用を促し、良好な景観形成のための助言を行う	継続	継続	継続	住宅まちづくり課

3. アダプトプログラムの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
まちの環境美化を進めるため、市が管理する道路や公園・緑地等の公共場所において、美化活動に取り組む市民団体や企業に対して協定に基づく支援を実施。	地域清掃（美化）活動に対し、ごみ袋の配布やごみの収集の支援を実施	継続	継続	継続	環境事業課、公園みどり課

施策シート[28_01]－ 施策指標

環境部、都市整備部、土木部

施策名称		景観に配慮した美しいまち並みの形成						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
修景補助を受けた建物の件数（累計）	歴史的景観保全地区において市からの修景補助を受けた建物修景件数（累計）	58	60	62	64	件	住宅まちづくり課	1. 歴史的景観の保全
景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）	建築等に関する計画を進める際に、景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）	38	41	44	47	件	住宅まちづくり課	2. 都市景観の形成
継続して環境美化活動を行う市民団体数	公共場所（駅前・道路・公園等）の美化活動を行う市民活動団体（アダプトプログラム登録団体）数	242 285 (公園アダプト団体数)	244 286 (公園アダプト団体数)	246 287 (公園アダプト団体数)	248 288 (公園アダプト団体数)	活動団体数	環境事業課、公園みどり課	3. アダプトプログラムの推進

施策名称		広報・広聴活動の充実		
総合計画体系	基本目標等	計画推進		
	施策目標等	29.市民との情報の共有化を進めます		
めざす姿（主観的満足度）		行政からの情報発信が充実している		
概要		市政や地域の情報を積極的に提供するとともに、人を呼び込むような市の魅力を市内外へ広く発信する。また、市民からの意見を広く聴取し、取り組みの成果や課題を共有することで、協働のまちづくりを進める。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	1. P Rテーマの設定 2. シティプロモーションにおける連携・つながりの強化 3. ハイブリッド型情報発信の推進 4. 生活相談等の充実 5. 市政モニターアンケートの実施			
	R7年度			
	4. 生活相談等の充実 ○インターネット予約やオンライン相談の拡充などの相談体制の充実			
	R8年度			
	R9年度			

施策シート【29_01】－ 具体的な取り組み

市長公室

施策名称	広報・広聴活動の充実
------	------------

１．PRテーマの設定

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市外からの枚方への関心の高まりと定住の促進、市民の街への愛着醸成につなげるため、市として強く押し出すべきPRテーマを設定し、ウェブ広告など多様な媒体を効果的に活用し展開する。	庁内連携のもと設定したPRテーマについて、市内・市外に向け多様な媒体活用によりプロモーションを展開	継続	継続	継続	広報プロモーション課

２．シティプロモーションにおける連携・つながりの強化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
広がりのあるシティプロモーションとするため、枚方の魅力を発信する市PR大使や、市民などで構成するひらかたプロデューサーズなど多様な主体との連携に努めながら、枚方に関わる人を表す「枚方家族」等の新たな枠組みを再構成。	「枚方家族」などの新たな枠組み検討	継続	「枚方家族」を増やすことで自発的な情報発信を促す取り組みを推進	継続	広報プロモーション課

３．ハイブリッド型情報発信の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
多言語アプリ「カタログポケット」の活用など多様な人たちに適切に情報を届けるための体制確保と、新たな媒体を採り入れること「広報ひらかた」の電子化を促進する。	広報紙とデジタル媒体の連携（ハイブリッド型情報発信）を進め、それぞれの媒体が情報を相互に補完、拡張することでの情報発信強化	継続	継続	継続	広報プロモーション課

施策シート【29_01】－ 具体的な取り組み

市長公室

施策名称	広報・広聴活動の充実
------	------------

4. 生活相談等の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
相談担当職員による生活相談業務の実施。 専門相談員による専門相談（法律相談・交通事故相談等）の実施。 憲法・法の日週間記念「市民講座」の開催。 令和6年4月からの相続登記義務化に応じ、登記相談のインターネット予約とオンライン相談の拡充。	・大阪司法書士会と相談体制の調整を行う ・今後も市民に寄り添った相談を心がける	・引き続き、「広報ひらかた」への掲載や、他部署主催の講座等で、相談案内チラシを配布 ・インターネット予約やオンライン相談の拡充などの相談体制の充実	継続	継続	広聴相談課

5. 市政モニターアンケートの実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市政モニターの協力を得て、市政についてのアンケート調査を実施	モニター更新年にあたり、モニター数の確保と回答率の向上に取り組む	引き続きモニター数の確保と、回答率の向上に取り組む	継続	継続	広聴相談課

施策シート[29_01]ー 施策指標

市長公室

施策名称	広報・広聴活動の充実
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
シティプロモーションサイトへのアクセス数	多様な媒体によるプロモーション・広告の流入先としてシティプロモーションサイトを設定し、当サイトにおいてより詳細な情報を届ける。	30,000	31,500	33,000	34,500	件	広報プロモーション課	1. P Rテーマの設定
シティプロモーションにおいて市と連携・つながりを持つ主体の数	枚方PR大使、ひらかたプロデューサーズまたは新たに再構成する「枚方家族」などとして、市とのつながりを持ち主体的な情報発信を行っていただける人の数	250	270	350	400	人	広報プロモーション課	2. シティプロモーションにおける連携・つながりの強化
「デジタル版広報ひらかた」を読んでいる人（又は配信を希望する人）の割合	アンケート調査において、「電子媒体で読んでいる（又は読むことを希望する）」と回答した件数／アンケート回答者数	21	22	24	25	%	広報プロモーション課	3. ハイブリッド型情報発信の推進
完結目標日達成率	回答全体のうち、完結目標日までに回答できた割合【算出式：完結目標日までに回答した件数／受付けた「市民の声」（供覧処理のみのもの等を除く）】	90	90	90	90	%	広聴相談課	4. 市民に寄り添った生活相談等の実施
相談者満足度	枚方市品質マネジメントシステムに基づく満足度【算出式：「満足」「概ね満足」と回答した件数／アンケート回答者数】	80	80	80	80	%	広聴相談課	4. 市民に寄り添った生活相談等の実施
市政モニターの年間平均回答者数	市政モニターを対象としたアンケートの年間平均回答者数	385	385	385	385	人	広聴相談課	5. 市政モニターアンケートの実施

施策シート【29_02】

総合政策部、市民生活部、健康福祉部、環境部、都市整備部

施策名称		DXの推進		
総合計画体系	基本目標等	計画推進		
	施策目標等	29.市民との情報の共有化を進めます		
めざす姿（主観的満足度）		行政からの情報発信が充実している		
概要		スマートシティを推進し、行政サービスの向上を図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	1. 都市づくり情報及び営繕事業のDX推進 ○段階的实施（公印・実印不要の手続） 2. 窓口業務オンライン化の推進 ○枚方市駅市民窓口センターにおいてワンストップ、リモート窓口運用開始 3. 「書かない・待たない・回らない」窓口の実現 4. デジタル技術を活用したスマート自治体の推進 ○年間1,000件以上の手続きを中心に、電子申請対応手続きの拡充、キャッシュレス決済対応窓口の拡充		2. 窓口業務オンライン化の推進 ○前期中に本庁、支所での運用開始 3. 「書かない・待たない・回らない」窓口の実現 ○前期中に本庁、支所での運用開始	

施策シート【29_02】

総合政策部、市民生活部、健康福祉部、環境部、都市整備部

施策名称		DXの推進		
総合計画体系	基本目標等	計画推進		
	施策目標等	29.市民との情報の共有化を進めます		
めざす姿（主観的満足度）		行政からの情報発信が充実している		
概要		スマートシティを推進し、行政サービスの向上を図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	5. 新しい地域拠点の構築 6. チャットツールの活用 7. ノーコード・ローコードツールの活用 8. 音声文字起こしツールの活用 9. 障害区分認定調査等の業務効率化 10. 粗大ごみ等戸別収集予約受付システムの改善 11. 情報システム標準化・共通化の推進 12. スマートシティを見据えたデジタル技術等の導入		5. 新しい地域拠点の構築 ○「新しい地域拠点の基本的な考え方」を踏まえ、年度前半に本庁、支所での運用開始	

施策シート【29_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市民生活部、健康福祉部、環境部、都市整備部

施策名称	DXの推進
------	-------

1. 都市づくり情報及び営繕事業のDX推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①行政手続のオンライン化 ②遠隔臨場・BIMの導入	①段階的实施（公印・実印不要の手続） ②導入可能性の調査及び検討	①段階的实施（環境整備・関係課機関協議） ②適用範囲の拡充	継続	継続	都市計画課、住宅まちづくり課、開発調整課、審査指導課、施設整備課

2. 窓口業務オンライン化の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市駅市民窓口センター等における実績や課題を踏まえ、デジタル技術を活用し、新庁舎窓口でのオンライン相談の活用も見据えつつ、本庁・支所での窓口業務の対応手法や取扱い業務の見直しを実施。	・枚方市駅市民窓口センターにおいてワンストップ、リモート窓口運用開始 ・遠隔窓口の運用状況を踏まえた検証	・オンライン相談の活用方法の確立 ・課題等整理を行い、本庁、支所へのサービス拡大に向けた検討	前期中に本庁、支所での運用開始	継続	DX推進課、市民生活政策課

3. 「書かない・待たない・回らない」窓口の実現

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
転居等の手続きなど、複数部署を回り、申請書を何度も記入するなど、市民への負担が大きい事務について、「書かない・待たない・回らない」窓口を実現。	枚方市駅市民窓口センターにおいてワンストップ、リモート窓口運用開始	本庁窓口のワンストップ化と合わせて、拡充に向けた推進	前期中に本庁、支所での運用開始	継続	DX推進課、市民生活政策課

4. デジタル技術を活用したスマート自治体の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
AIや電子申請等、ICTを活用した技術を積極的に活用し、市民サービスを向上。オープンデータ等、データ利活用の促進を図ることにより、市民の利便性向上と官民協働によるまちづくりを推進。	・年間1,000件以上の手続きを中心に、電子申請対応手続きの拡充 ・キャッシュレス決済対応窓口の拡充	年間1,000件以下の手続きについて、電子申請の拡充のための精査、順次拡充	継続	継続	DX推進課

施策シート【29_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市民生活部、健康福祉部、環境部、都市整備部

施策名称	DXの推進
------	-------

5. 新しい地域拠点の構築

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市駅市民窓口センターでのワンストップ、リモート窓口運用の検証を踏まえ、デジタル技術を活用し、福祉関係の相談や様々な申請手続きに対応できる窓口機能を有した新しい地域拠点を構築。	「新しい地域拠点の基本的な考え方」を地域福祉計画第5期に反映	北部支所及び枚方市駅市民窓口センターの対応状況や「新しい地域拠点の基本的な考え方」を踏まえ、各支所等への展開を検討	北部支所及び枚方市駅市民窓口センターの対応状況や「新しい地域拠点の基本的な考え方」を踏まえ、年度前半に本庁、支所での運用開始	・自宅等からの電子申請の拡充 ・地域の相談機関等との連携による包括的な相談支援体制の充実	市民生活政策課、健康福祉政策課

6. チャットツールの活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
コミュニケーションの迅速化による業務削減を目標に、チャットツール（LoGoチャット）を導入。	希望部署を対象に、LoGoチャットライセンスを配布	継続	継続	継続	DX推進課

7. ノーコード・ローコードツールの活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
既存システムだけでは不足しているような業務についての効率化を行うためにノーコードローコードツールを活用。	・ノーコードローコードツールの勉強会を実施 ・相談がある部署に対して担当職員と一緒に活用を推進	継続	継続	継続	DX推進課

8. 音声文字起こしツールの活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
議事録の作成に活用可能な音声文字起こしツールを導入し、全庁的に利用可能な環境を整備する。	大阪府下共同調達により新たな製品を導入	前年度の導入効果に基づき、製品や導入規模を最適化	継続	継続	DX推進課

施策シート【29_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市民生活部、健康福祉部、環境部、都市整備部

施策名称	DXの推進
------	-------

9. 障害区分認定調査等の業務効率化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ICT技術を活用し、障害者手帳の交付や精神通院等の自立支援医療の申請時の混雑を緩和するとともに、認定調査の際の業務負担を軽減。	・タブレットの導入による窓口でのサービスの制度説明の統一化・明確化 ・認定調査時の業務工程を簡略化	継続	継続	継続	障害支援課

10. 粗大ごみ等戸別収集予約受付システムの改善

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民サービスのさらなる維持向上に向け、粗大ごみ等戸別収集予約受付システムを改善。 R7年度が本システムの更新年度にあたるため、現行のインターネット受付システムをより使いやすいものに改善し、利用率の向上を目指す。	インターネット受付システムの更新	・新インターネット受付システムの利用について、スマホアンケート等を実施 ・利用者の声を基に更に改善を進めていく	・福祉部局と連携し、高齢者の利用を促進するための説明会等を適宜開催 ・LINEなどSNSを活用し、若者にも広く情報発信	継続	循環型社会推進課

11. 情報システム標準化・共通化の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ベンダロックイン解消、行政運営の効率化、コスト削減等を目的としたシステムの標準化・共通化について、令和7年度末までに対象の20業務を標準化システムへ移行させるため、システム各所管課との調整や各システムが共通的に利用する基盤や機能について必要な作業を実施。	各システムが共通的に利用する基盤や機能の構築	各システムが共通的に利用する基盤や機能の構築	安定した運用の推進	継続	DX推進課

12. スマートシティを見据えたデジタル技術等の導入

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
デジタル技術等を活用したスマートシティ化に向け、まちづくりの仕組みを構築する	デジタル技術等の導入の可能性検討	スマートシティ構想（市の考え方）の策定 デジタル技術等の導入の可能性検討	協議会等によるスマートシティ推進体制の構築 デジタル技術等の導入の可能性検討	継続	政策推進課

施策シート[29_02]ー 施策指標

総合政策部、市民生活部、健康福祉部、環境部、都市整備部

施策名称		DXの推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
遠隔臨場を活用した工事件数	遠隔臨場を活用した工事件数	-	5	10	20	件	施設整備課	1. 都市づくり情報及び営繕事業のDX推進
遠隔窓口システム対応手続き	遠隔窓口システムで対応可能な相談等の手続き数	55	60	65	70	手続き	DX推進課 市民生活政策課	2. 窓口業務オンライン化の推進 5. 新しい地域拠点の構築 9. 障害区分認定調査等の業務効率化
「書かない・待たない・回らない」窓口対応拠点	窓口DXaaSシステム（「書かない」ワンストップ窓口を実現するシステム）を導入した拠点数	1	1	5	5	拠点	市民生活政策課	3. 「書かない・待たない・回らない」窓口の実現
枚方市駅市民窓口センターにおける転入・転居（1件）に係るすべての手続きに要する時間	市民が窓口DXaaSシステム（「書かない」ワンストップ窓口を実現するシステム）を利用し、転入・転居に係るすべての手続きに要する時間	60	60	45	45	分	市民生活政策課	3. 「書かない・待たない・回らない」窓口の実現
電子申請対応手続き数	電子申請に対応し、市民等からオンライン申請が可能となった行政手続の種類数 ※イベント申込等の軽易な手続きを除く ※R5時点:62手続	179	199	260	307	手続き	DX推進課	4. デジタル技術を活用したスマート自治体推進事業
枚方市駅市民窓口センターにおける取扱う手続き等の数	デジタル技術を活用することにより、枚方市駅市民窓口センターで取扱う手続き等の数を増加させ、その実績を踏まえ、各支所への展開を図る。	39	44	49	54	件	市民生活政策課、健康福祉政策課	5. 新しい地域拠点の構築
業務負担の軽減	LoGoチャット導入によって業務時間の削減につながったと答える職員の割合	80	80	80	80	%	DX推進課	6. チャットツールの活用
アプリケーション数	ノーコードローコードツールを活用して業務改善を行うことができた数	10	20	40	60	数	DX推進課	7. ノーコード・ローコードツールの活用
業務負担の軽減	音声文字起こしツール導入によって削減された業務時間数	1,800	1,800	1,800	1,800	時間	DX推進課	8. 音声文字起こしツールの活用
粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付率	粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付件数／粗大ごみ戸別収集の予約受付件数	51.5	52.5	53.5	54.0	%	循環型社会推進課	10. 粗大ごみ等戸別収集予約受付システムの改善
スマートサービス導入の可能性検証の件数	市内で展開されるデジタル技術等の社会実験の延べ件数	6	8	10	12	件	政策推進課	12. スマートシティを見据えたデジタル技術等の導入

施策シート【30_01】

市長公室、健康福祉部

施策名称		市民などによるまちづくり活動の活性化		
総合計画体系	基本目標等	計画推進		
	施策目標等	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します		
めざす姿（主観的満足度）		市民によるまちづくり活動が活発である		
概要		ネットワークづくりの場の提供、若手を中心とした新たな担い手の育成を図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	1. NPO活動の支援 2. コミュニティ活動の支援 3. 民生委員のなり手不足の解消			
	R7年度			
	R8年度			
	R9年度			

施策シート【30_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、健康福祉部

施策名称	市民などによるまちづくり活動の活性化
------	--------------------

1. NPO活動の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた市民活動支援センターと連携し、市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化することを目的として、サプリ村野を拠点に市民活動の情報を収集・発信。 また、市民活動の担い手不足解消のため、ボランティア・市民活動への参加のきっかけを提供し、人材を育成。	ひらかた市民活動支援センターと連携し、若者の参画を推進	継続	継続	継続	市民活動課

2. コミュニティ活動の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域の活性化に資する活動を行い、地域住民の連携促進や安全・安心で魅力ある地域づくりを推進する校区コミュニティ協議会の自主的な活動を支援。	枚方市コミュニティ連絡協議会と連携し、地域活動の活性化を推進	継続	継続	継続	市民活動課

3. 民生委員のなり手不足の解消

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けて、民生委員・児童委員の負担軽減策に取り組み、令和7年度の一斉改選では、前回の結果を少しでも上回るものになるよう進めていく。	民生委員・児童委員の負担軽減策の取り組みを推進	民生委員・児童委員の負担軽減策の取り組みを進めながら、一斉改選	令和7年度の一斉改選の結果を検証し、新たな民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けた取り組みを推進	継続	健康福祉政策課

施策シート【30_01】ー 施策指標

市長公室、健康福祉部

施策名称		市民などによるまちづくり活動の活性化						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
自治会等加入世帯率	自治会等に参加している世帯数／全世帯数	65	66	67	68	%	市民活動課	ー
市内NPO、ボランティアの団体数	ひらかた市民活動支援センター、サブリ村野NPOセンター及び枚方市ボランティアセンターの登録団体数	460	470	480	490	団体	市民活動課	ー
特定非営利活動法人（NPO法人）の法人数	市内にのみ事務所を有する特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受けている法人数	107	109	111	113	法人	市民活動課	ー
ボランティア体験事業参加者数	若者を対象とした「ボランティア体験事業」の参加者数	240	250	260	270	人	市民活動課	1. NPO活動の支援
枚方市民生委員・児童委員の充足率	12月1日時点の枚方市民生委員・児童委員の充足率	86	86	87	87	%	健康福祉政策課	3. 民生委員のなり手不足の解消

施策名称		行財政改革の推進	
総合計画体系	基本目標等	計画推進	
	施策目標等	31.持続可能な行財政運営を進めます	
めざす姿（主観的満足度）			
概要		実施事業の見直し・改善、選択と集中の視点を踏まえた効率的・効果的な予算編成と執行、さらなる財源確保に取り組む。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度
	R9年度		

1. ネーミングライツの推進
2. 公有地の売却推進
3. 新たな財源確保策の検討
4. ふるさと納税制度のより一層の推進
5. 企業版ふるさと納税制度のより一層の推進
6. 公民連携の推進
7. 計画的な財政運営
8. 公共空間の活用など、規制緩和を促進
9. 行財政改革プラン2024の推進
10. 保険料の徴収強化
11. 非強制徴収債権の適正な管理・

施策シート【31_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総合政策部、総務部

施策名称	行財政改革の推進
------	----------

1. ネーミングライツの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市が保有する資産を有効活用し財源確保を図るため、ネーミングライツを推進する。	募集条件の見直し等	・一斉募集(随時) ・PR活動 ・既存パートナーの更新	継続	継続	財産活用課

2. 公有地の売却推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
売却困難地の売却などを推進。	・詳細調査 ・所管課との調整	・鑑定、価格審査、公募 ・民間提案募集の運用改善 事業者ヒアリング	継続	継続	財産活用課

3. 新たな財源確保策の検討

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新たな財源確保策の検討を進める。	・他市事例の調査研究 ・所管課との調整 ・市有施設の現状調査 ・所管、課との調整・協議	・事業者ヒアリング ・市有施設の現状調査 ・所管課との調整・協議	継続	継続	財産活用課

施策シート【31_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総合政策部、総務部

施策名称	行財政改革の推進
------	----------

４．ふるさと納税制度のより一層の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ふるさと納税制度の効果的な活用による自主財源の確保に向け、インターネット広告を活用した積極的 P R を展開するなど寄附の受け入れ拡大に向けて取り組みを強化。	・W E B 広告等を活用したプロモーション強化 ・返礼品提供事業者の開拓	継続	継続	継続	広報プロモーション課

５．企業版ふるさと納税制度のより一層の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・ひらかた万博推進基金の原資となるふるさと納税や企業版ふるさと納税による寄附獲得に向け P R 。	・ふるさと納税や企業版ふるさと納税の寄附獲得に向けた P R	継続	継続	継続	広報プロモーション課

６．公民連携の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・行政課題の解決に繋げるため、公民連携プラットフォームの運営などにより公民連携を促進。 ・庁内意識醸成に向けた公民連携セミナー・ワークショップの実施。	・公民連携プラットフォームの運営 ・効果的な公民連携セミナー等の検討及び実施	継続	継続	継続	政策推進課

施策シート【31_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総合政策部、総務部

施策名称	行財政改革の推進
------	----------

7. 計画的な財政運営

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
健全な財政状況を維持するため、長期財政収支の見通しを明らかにし、収支均衡を基本としながら、地方債残高など将来負担に留意した計画的な財政運営を推進。	・「長期財政の見通し」の見直し ・一般会計等財務書類4表だけでなく、一般会計等に地方公営事業会計を加えた全体財務書類4表、全体財務書類に外郭団体等を加えた連結財務書類4表の作成 ・財務書類について、毎年発刊の「枚方市の財政事情（第2部）」における他団体比較	継続	継続	継続	財政課

8. 公共空間の活用など、規制緩和を促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
民間事業者からの提案などを踏まえた連携事業の実施にあたり、既存の規制等について柔軟な対応を検討のうえ、公共空間の活用などを促進	既存の規制等について柔軟な対応を検討	継続	継続	継続	政策推進課

施策シート【31_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総合政策部、総務部

施策名称	行財政改革の推進
------	----------

9. 行財政改革プラン2024の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
個別改革課題の着実な達成に向け、取り組み年度中(12月頃)に進捗状況を確認・検証。	「行財政改革プラン2024」の個別改革課題の進捗管理	継続	継続	・「行財政改革プラン2024」の個別改革課題の進捗管理 ・R9年度末にプラン終期を迎えるにあたり、次期プラン策定の検討を進める	行革推進課

10. 保険料の徴収強化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料の未納分について、差押などの滞納処分を実施。	財産調査の電子照会など、様々な取り組みにより効果的効率的な滞納処分に努める	継続	継続	継続	保険納付課

11. 非強制徴収債権の適正な管理・回収

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
非強制徴収債権（私債権及び非強制徴収公債権）の未回収事案について回収強化を図る。	債権所管課から移管を受けた非強制徴収債権について、弁護士職員を活用し、積極的に支払督促を申し立てる等、適正な管理・回収に務める	継続	継続	継続	債権回収課

施策シート[31_01]ー 施策指標

市長公室、総合政策部、総務部

施策名称		行財政改革の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ネーミングライツ導入施設割合	ネーミングライツ募集施設数に対する導入施設数の割合	100	100	100	100	%	財産活用課	1. ネーミングライツの推進
「売却困難地」の売却件数	「売却困難地」の売却件数	8	8	8	—	件	財産活用課	2. 売却困難地の売却推進
ふるさと納税による寄附金受入額	市窓口またはふるさと納税ポータルサイトを通じて、市外の個人が本市へ寄附をされた総額	350,000	500,000	650,000	800,000	千円	広報プロモーション課	4. ふるさと納税制度のより一層の推進
企業版ふるさと納税による寄附金受入額	各年度ごとの企業版ふるさと納税により寄附された金額の総額	50,000	55,000	60,000	65,000	千円	広報プロモーション課	5. 企業版ふるさと納税制度のより一層の推進
公民連携事業の実施件数	各年度に公民連携による事業に着手した件数	20	20	20	20	件	政策推進課	6. 公民連携の推進
公民連携を通じて行政の課題解決につながった件数	公民連携プラットフォーム等を活用して公民連携に取り組むことで、行政の課題解決や市民サービスの向上につながった取組件数	5	5	5	5	件	政策推進課	6. 公民連携の推進
健全化判断比率	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算定する実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：1.7%以下 将来負担比率：なし	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：1.7%以下 将来負担比率：なし	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：1.7%以下 将来負担比率：なし	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：1.7%以下 将来負担比率：なし	%	財政課	7. 財政運営事業
東部地域の古民家活用につながった件数	東部地域において、既存の規制等について柔軟な対応により古民家の活用につながった件数（延べ）	1	2	3	4	箇所	政策推進課	8. 公共空間の活用など、規制緩和を促進
「行財政改革プラン2024」の改革課題の達成率	「行財政改革プラン2024」における個別改革課題達成数／全体の課題数	1	11	28	100	%	行革推進課	9. 行財政改革プラン2024の推進
保険料収納率（現年度分）	国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の現年度分収納率	・国保95.50 ・後期99.67 ・介護99.50	・国保95.50 ・後期99.67 ・介護99.50	・国保95.50 ・後期99.67 ・介護99.50	・国保96.00 ・後期99.67 ・介護99.50	%	保険納付課	10. 保険料の徴収強化

施策名称		市有建築物の管理コストの平準化・計画的な更新・改修			
総合計画体系	基本目標等	計画推進			
	施策目標等	31.持続可能な行財政運営を進めます			
めざす姿（主観的満足度）					
概要		市有建築物について、管理コストの平準化を図りながら、計画的に改修・更新を進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 市有建築物の整備・保全				
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【31_02】－ 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	市有建築物の管理コストの平準化・計画的な更新・改修
------	---------------------------

1. 市有建築物の整備・保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「市有建築物保全計画」に基づき、市有建築物施設の総合的かつ計画的に保全。	工事等の進捗管理	・工事等の進捗管理 ・第Ⅳ期実施計画の策定	工事等の進捗管理	継続	施設計画課、施設整備課

施策シート【31_02】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	市有建築物の管理コストの平準化・計画的な更新・改修
------	---------------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
実施計画に基づく更新工事件数	実施計画に基づく各施設の更新工事を行った割合（※法定点検や施設状態を踏まえ実施時期を調整したものを除く）	100	100	100	100	%	施設計画課、施設整備課	1. 市有建築物の整備・保全

施策名称		公共施設の最適配置			
総合計画体系	基本目標等	計画推進			
	施策目標等	31.持続可能な行財政運営を進めます			
めざす姿（主観的満足度）					
概要		社会状況の変化やその利用需要の動向をふまえた最適な配置・活用を進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	1. 公共施設マネジメントの推進			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【31_03】－ 具体的な取り組み

総合政策部

施策名称	公共施設の最適配置
------	-----------

1. 公共施設マネジメントの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
将来の人口構造や人口規模に合わせた公共施設の総量の適正化を図るため、公共施設全般に係る総合的かつ計画的なマネジメントを本市全体で統一的、効率的に推進。	・前年度決算値に基づく施設評価の実施 ・公共施設マネジメント推進計画改訂を見据えた数値目標、施設評価手法、コスト等の検討	・前年度決算値に基づく施設評価の実施 ・公共施設マネジメント推進計画改訂に向けた取り組み（数値目標等の設定、複合化や統廃合等の施設分類別方針(案)の作成など）	・前年度決算値に基づく施設評価の実施 ・公共施設マネジメント推進計画の改訂	・改訂された計画に基づく取り組み	行革推進課

施策シート【31_03】－ 施策指標

総合政策部

施策名称	公共施設の最適配置
------	-----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市民一人当たりの延床面積	枚方市個別施設計画（総合編）の計画期間（R3～R8）における市民一人当たりの延床面積は現状の1.9㎡を維持する	1.9	1.9	1.9	1.9 （仮定値）	㎡	行革推進課	1. 公共施設マネジメントの推進

施策シート【31_04】

総務部

施策名称		組織体制の充実			
総合計画体系	基本目標等	計画推進			
	施策目標等	31.持続可能な行財政運営を進めます			
めざす姿（主観的満足度）					
概要		限られた人的資源を有効に活用しながら、状況の変化により柔軟かつ適切に対応できるよう、組織体制の充実を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 職員のモチベーション向上とワーク ライフバランスの推進				
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【31_04】－ 具体的な取り組み

総務部

施策名称	組織体制の充実
------	---------

1. 職員のモチベーション向上とワークライフバランスの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
職員表彰制度などにより、職員のモチベーションの更なる向上を図るとともに、長時間労働の縮減やメンタルヘルス不調者の未然防止など、健康経営の取り組みを推進。	・職員表彰制度を活用し、職員のモチベーション向上につなげる ・長時間労働の縮減に向けた取り組みの継続 ・健康経営の推進の継続 ・人材育成基本方針の浸透	継続	継続	継続	人事課、職員課

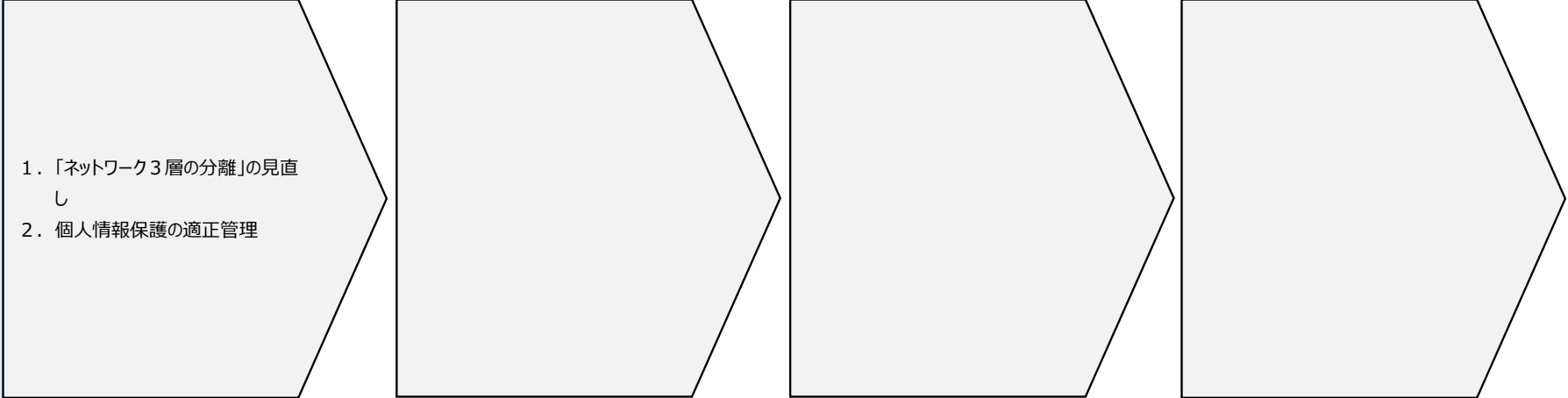
施策シート【31_04】－ 施策指標

総務部

施策名称		組織体制の充実						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
長時間労働の縮減により創出した時間外勤務手当額の効果額	行財政改革プラン2020の最終年度である令和4年度における目標効果額に達しなかった実績を基に令和6年度の目標数値（令和4年度比較）を設定し、次年度以降、取り組みを推進させていく。	30,000	32,500	35,000	37,500	千円	人事課、職員課	1. 職員のモチベーション向上とワークライフバランスの推進

施策シート【31_05】

総合政策部、総務部

施策名称		個人情報の適正管理・セキュリティ対策の強化	
総合計画体系	基本目標等	計画推進	
	施策目標等	31.持続可能な行財政運営を進めます	
めざす姿（主観的満足度）			
概要		個人情報の適正管理・セキュリティ対策の強化を図る。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	R7年度		
	R8年度		
	R9年度		

施策シート【31_05】－ 具体的な取り組み

総合政策部、総務部

施策名称	個人情報の適正管理・セキュリティ対策の強化
------	-----------------------

1. 「ネットワーク3層の分離」の見直し

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
自治体情報セキュリティ対策について、令和9年度に向けて「ネットワーク3層の分離」に係る見直しを検討。	国等のガイドラインの状況を踏まえながら情報セキュリティポリシー等に係る見直し及び継続的な運用	継続	継続	継続	DX推進課

2. 個人情報保護の適正管理

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
保有個人情報保護及び安全管理等に関する研修を実施。	・個人情報保護に係る研修と効果測定を実施 ・各職場研修主担者が、研修を受講すべき人数（個人情報を取り扱う人数）と研修を受講した人数をコンプライアンス推進課へ報告。	継続	継続	継続	コンプライアンス推進課

施策シート【31_05】－ 施策指標

総合政策部、総務部

施策名称		個人情報の適正管理・セキュリティ対策の強化						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
保有個人情報の保護に関する研修の受講率	研修を受講した人数／個人情報を取り扱う人数	100	100	100	100	%	コンプライアンス推進課	2. 個人情報保護の適正管理

施策シート【31_06】

総合政策部、総務部

施策名称		目標達成に向け意欲的に学び成長する職員の育成					
総合計画体系	基本目標等	計画推進					
	施策目標等	31.持続可能な行財政運営を進めます					
めざす姿（主観的満足度）							
概要		市民サービスの向上を図るため、目標の達成に向け意識的に学び成長していく職員の育成を進める。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
	1. 職員研修の充実 2. 職員提案の推進 3. 情報セキュリティ研修の実施						

施策シート【31_06】ー 具体的な取り組み

総合政策部、総務部

施策名称	目標達成に向け意欲的に学び成長する職員の育成
------	------------------------

1. 職員研修の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
求められている職員像に近づくための研修となるよう、研修の理解度の向上を図る。また、職員力の向上につなげるため、職員ニーズに対応した実効的な職場外研修を実施。	・研修実施時に、人材育成基本方針のいずれの行動指針の項目に基づくものか説明を行う ・研修後のアンケートにより、職員の理解度や行動変容をその都度確認していく ・研修後のアンケートにより、職員の研修満足度をその都度確認し、今後の研修計画や研修内容に活かす	継続	継続	継続	人事課

2. 職員提案の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
職員に対して自由な発想による提案を広く募るとともに、より一層のチャレンジ精神の醸成を目的に、優れた提案内容については、実現に向けた具体的な検討の促進や市長表彰への推薦を実施。	・円滑な制度運用を行う ・職員のチャレンジを生かせる制度となるよう、適宜見直しに取り組む	継続	継続	継続	行革推進課

3. 情報セキュリティ研修の実施

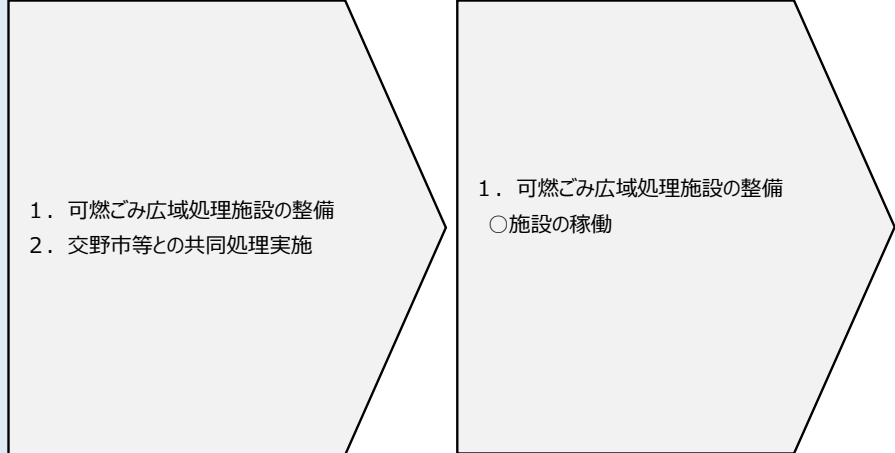
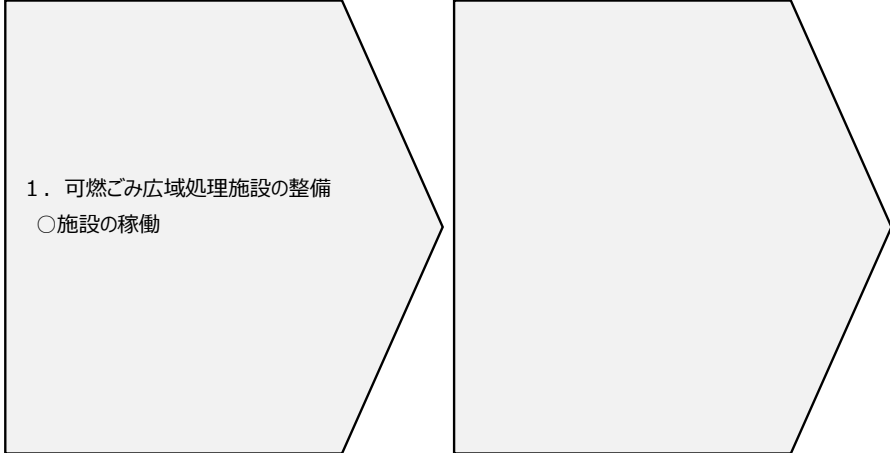
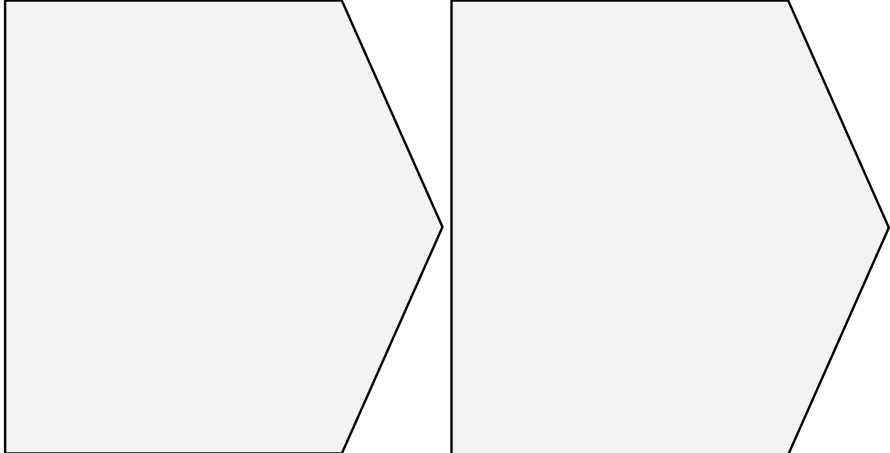
取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
職員の情報セキュリティ意識の向上に向け、個人情報漏えいをはじめとする情報セキュリティ侵害の事案や、事故発生危険性等、情報セキュリティ研修を実施。	情報セキュリティ全般に関する研修の実施	継続	継続	継続	DX推進課

施策シート【31_06】－ 施策指標

総合政策部、総務部

施策名称	目標達成に向け意欲的に学び成長する職員の育成
------	------------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
職場研修必須科目の職場研修実施率	人事課において定めた必須テーマの研修に基づき、各課において職場研修を実施した職場の割合	100	100	100	100	%	人事課	1. 職員研修の充実
職員研修受講者の理解度	研修受講職員を対象に実施する事後アンケートにおいて、理解度を測る設問（5段階）に対して「よく分かった」「分かった」を選択した職員の割合	100	100	100	100	%	人事課	1. 職員研修の充実
職員研修受講者の満足度	研修受講職員を対象に実施するアンケートにおいて、満足度を測る設問（5段階）に対して「非常に満足」「満足」を選択した職員の割合	100	100	100	100	%	人事課	1. 職員研修の充実
枚方市人材育成基本方針の理解度	研修受講職員を対象に実施するアンケートにおいて、理解度を測る設問（4段階）に対して「十分理解」「ある程度理解」を選択した職員の割合	100	100	100	100	%	人事課	1. 職員研修の充実
職員提案件数	職員から応募のあった提案件数（年間）	10	14	18	22	件	行革推進課	2. 職員提案の推進
個人情報の漏えい防止等セキュリティに関する研修参加率	個人情報の漏えい防止等セキュリティに関する職員対象の研修参加者数／全職員	100	100	100	100	%	DX推進課	3. 情報セキュリティ研修の実施

施策名称		広域連携		
総合計画体系	基本目標等	計画推進		
	施策目標等	32.自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります		
めざす姿（主観的満足度）				
概要		周辺自治体との連携・協力による効率的・効果的な行政サービスの提供を図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	1. 可燃ごみ広域処理施設の整備 2. 交野市等との共同処理実施			
	R7年度			
	1. 可燃ごみ広域処理施設の整備 ○施設の稼働			
	R8年度			
R9年度				

施策シート【32_01】－ 具体的な取り組み

環境部

施策名称	広域連携
------	------

1. 可燃ごみ広域処理施設の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
京田辺市と連携しながら枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を推進。	施設の建設	施設の建設 施設の稼働開始	枚方京田辺環境施設組合による施設の運営	継続	循環型社会推進課

2. 交野市等との共同処理実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
交野市等との広域連携について協議を行いながら共同処理の実現に向け推進する。	・共同処理の可能性について検討 ・共同処理に係る協議	継続	継続	継続	希釈放流センター

施策シート【32_01】－ 施策指標

環境部

施策名称	広域連携
------	------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
整備事業の進捗率	可燃ごみ広域処理施設の整備事業の進捗率	89	100	－	－	%	循環型社会推進課	1. 可燃ごみ広域処理施設の整備
共同処理に係る協議の進捗率	交野市等との広域連携に向けた共同処理に係る協議の進捗率	12	25	37	50	%	希釈放流センター	2. 交野市等との共同処理実施

●SDGsとの関連及び施策間連携について

総合計画に掲げる、めざすまちの姿である「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち」の実現に向けて、総合計画の基本目標・施策目標との直接的な関係性により、実行計画の各施策を位置付けています。

「枚方市SDGs取組方針」では、総合計画に基づく施策をSDGsに連動させて展開するとしており、SDGsの包摂的な課題解決を図る観点から、施策間連携や複数の目標達成を意識しながら取り組みを進めていく必要があります。

そのため、各施策に関連する複数の基本目標を下表のとおり示し、施策間連携の促進による相乗効果等を図ることで、めざすまちの姿と誰一人取り残されないSDGsの達成に向けて取り組みを進めていくものです。

		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進に向け た基盤づくり
01_01	防災体制の強化	○	○				○
01_02	防災意識の向上	○					○
01_03	都市基盤の計画的な維持管理	○				○	
01_04	浸水被害の軽減	○				○	
02_01	災害情報の迅速かつ正確な提供	○	○		○		○
03_01	防犯体制の整備	○		○			○
03_02	消費者被害へ意識啓発・相談体制 の充実	○	○				
04_01	幹線道路の整備	○					

 		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進に向け た基盤づくり
04_02	京阪連続立体交差事業の推進	○					
04_03	広域的な幹線道路等の整備	○					
04_04	快適な歩行空間の整備	○	○				
04_05	交通安全意識の向上	○		○			
05_01	公共交通機関の利用促進	○	○				○
05_02	空き家・空き地等の適正管理及び 活用促進	○				○	○
05_03	公共交通を軸とした都市機能の集 約化	○					○
06_01	からだの健康の増進		○	○	○		
06_02	こころの健康の維持・増進		○				
06_03	難病患者が地域で安心して暮らせ る環境づくり		○				
07_01	健康に関する危機管理体制の充実	○	○	○			

 		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進に向け た基盤づくり
07_02	人と動物の共生		○				○
08_01	医療体制の充実		○				
09_01	高齢者が地域で安心して暮らせる 環境づくり		○			○	
09_02	介護予防の推進	○	○				
09_03	高齢者の社会参加の促進		○				
10_01	社会参加の促進に向けた福祉サー ビスの充実		○				
10_02	障害への理解促進、地域との交流 の場の提供		○	○			○
11_01	人権教育・啓発の推進		○	○			
11_02	人権侵害への支援の充実		○	○			
11_03	多文化共生社会の形成の支援		○	○	○		
12_01	女性活躍の推進		○		○		

		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進に向け た基盤づくり
13_01	平和意識の向上		○	○			
14_01	安心して妊娠・出産できる環境づくり		○	○			○
15_01	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり		○	○	○		
15_02	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実			○	○		
15_03	児童虐待等の発生予防、早期発見、早期対応		○	○			
15_04	子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくり		○	○			○
16_01	小中一貫教育の推進			○			
16_02	子どもの確かな学力の定着を図る			○			○
16_03	高い指導力と意欲を持つ教職員の育成			○	○		
16_04	子どもの豊かな人間性を育む			○	○		
16_05	いじめの未然防止・早期発見		○	○			

		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進に向け た基盤づくり
16_06	不登校対策の強化			○			
16_07	教育環境の充実	○	○	○		○	○
16_08	支援教育の充実		○	○			
16_09	子どもの健やかな身体の育成		○	○			
17_01	生涯学習の推進			○			○
17_02	図書館運営・機能の充実		○	○			○
17_03	文化芸術活動の推進			○			
17_04	スポーツ活動の推進			○		○	
18_01	枚方市駅周辺の再整備	○			○	○	○
18_02	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出			○	○	○	
19_01	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実				○		

 		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進に向け た基盤づくり
19_02	観光施策の推進				○	○	○
19_03	若者の交流機会の創出			○	○		
19_04	国際化施策の推進		○		○		
20_01	雇用対策の充実				○		
21_01	市内産業の活性化			○	○	○	○
21_02	創業（起業）できる環境づくりの 充実				○		
22_01	農業の担い手の育成、就農促進			○	○	○	
23_01	里山など豊かな自然空間の保全・ 継承					○	
24_01	自然とふれあい親しめる場の確保					○	
24_02	緑化活動の活性化			○		○	
25_01	ごみ発生抑制を最優先にした 4 R の推進					○	

 		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進に向け た基盤づくり
26_01	大気・土壌汚染等の公害の未然防 止					○	
26_02	産業廃棄物などの発生抑制や適性 処理の推進					○	
26_03	安全で良質な水を将来にわたって 安定的に供給	○				○	
26_04	生活排水等の適正処理					○	
27_01	ゼロカーボンシティの推進					○	○
28_01	景観に配慮した美しいまち並みの 形成				○	○	○
29_01	広報・広聴活動の充実						○
29_02	DXの推進						○
30_01	市民などによるまちづくり活動の 活性化	○	○				○
31_01	行財政改革の推進				○		○
31_02	市有建築物の管理コストの平準 化・計画的な更新・改修						○

		基本目標 1 安全で、利便性の 高いまち	基本目標 2 健やかに、生きが いを持って暮らせ るまち	基本目標 3 一人ひとりの成長 を支え、豊かな心 を育むまち	基本目標 4 地域資源を生か し、人々が集い活 力がみなぎるまち	基本目標 5 自然と共生し、美 しい環境を守り育 てるまち	計画の推進 に向け た基盤づくり
31_03	公共施設の最適配置						○
31_04	組織体制の充実				○		○
31_05	個人情報の適正管理・セキュリ ティ対策の強化						○
31_06	目標達成に向け意欲的に学び成長 する職員の育成						○
32_01	広域連携					○	○